

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-00	図面リスト	A-69	家具詳細図 - 4	S-01	構造特記仕様書(構造関係・その1)	M-01	機械設備 特記仕様書(1)	E-01	特記仕様書
A-01	特記仕様書 - 1	A-70	家具詳細図 - 5	S-02	構造特記仕様書(構造関係・その2)	M-02	機械設備 特記仕様書(2)	E-02	工事区分表
A-02	特記仕様書 - 2	A-71	家具詳細図 - 6	S-03	構造関係共通図 (配筋標準図・その1)	M-03	機械設備 特記仕様書(3)	E-03	電気設備 配置図
A-03	特記仕様書 - 3	A-72	サインキープラン	S-04	構造関係共通図 (配筋標準図・その2)	M-04	空調設備 機器表	E-04	受変電設備 単線結線図・配電盤リスト・機器姿図
A-04	特記仕様書 - 4	A-73	サイン詳細図	S-05	構造関係共通図 (配筋標準図・その3)	M-05	空調設備 1階配管平面図	E-05	幹線設備 系統図・幹線リスト・警報リスト
A-05	特記仕様書 - 5	A-74	厨房機器配置図・機器表 (別途工事・参考図)	S-06	構造関係共通図 (配筋標準図・その4)	M-06	空調設備 2階配管平面図	E-06	動力制御盤リスト
A-06	特記仕様書 - 6	A-75	仮設計画図 (参考図)	S-07	構造関係共通図 (鉄骨標準図・その1)	M-07	換気設備 機器表(1)	E-07	電灯盤負荷表
A-07	特記仕様書 - 7	A-76	1階平面図 (区画図)	S-08	構造関係共通図 (鉄骨標準図・その2)	M-08	換気設備 機器表(2)	E-08	幹線・動力設備 1階平面図
A-08	特記仕様書 - 8	A-77	2階平面図 (区画図)	S-09	柱脚特記仕様書	M-09	換気設備 1階ダクト平面図	E-09	幹線・動力設備 2階平面図
A-09	特記仕様書 - 9			S-10	EV棟 伏図・軸組図	M-10	換気設備 2階ダクト平面図	E-10	照明器具姿図
A-10	工事区分表			S-11	EV棟 部材断面リスト(1)	M-11	衛生設備 機器表	E-11	電灯設備 1階平面図
A-11	計画概要・案内図・配置図	G-01	外構撤去図	S-12	EV棟 部材断面リスト(2)	M-12	衛生設備 器具表	E-12	電灯設備 2階平面図
A-12	現況図	G-02	外構計画図	S-13	EV棟 鉄骨詳細図	M-13	衛生設備 屋外・1階配管計画図	E-13	コンセント設備 1階平面図
A-13	敷地面積求積図	G-03	外構詳細図	S-14	階段屋根鉄骨詳細図(1)	M-14	衛生設備 2階配管計画図	E-14	コンセント設備 2階平面図
A-14	延床・建築面積求積図 - 1			S-15	階段屋根鉄骨詳細図(2)	M-15	衛生設備 配管詳細図(1)	E-15	コンセント設備 給食室詳細図
A-15	延床・建築面積求積図 - 2			S-16	階段屋根鉄骨断面リスト	M-16	衛生設備 配管詳細図(2)	E-16	非常照明・誘導灯設備 1階平面図
A-16	各室求積図	KA-01	撤去図1(新築時)			M-17	衛生設備 配管詳細図(3)	E-17	非常照明・誘導灯設備 2階平面図
A-17	仕上表 - 1	KA-02	撤去図2(新築時)			M-18	自動制御設備 1階配線平面図	E-18	放送設備 姿図・システム系統図
A-18	仕上表 - 2	KA-03	撤去図3(新築時)	KS-01	撤去図1(新築時)	M-19	自動制御設備 2階配線平面図	E-19	ITV設備 姿図・システム系統図
A-19	仕上表 - 3	KA-04	撤去図4(新築時)	KS-02	撤去図2(新築時)			E-20	放送・ITV設備 系統図
A-20	仕上表 - 4	KA-05	撤去図5(新築時)	KS-03	撤去図3(新築時)			E-21	放送・ITV設備 1階平面図
A-21	1階平面図 - 改修前	KA-06	撤去図6(新築時)	KS-04	撤去図4(新築時)	MT-01	機械設備 特記仕様書(撤去)	E-22	放送・ITV設備 2階平面図
A-22	2階平面図 - 改修前	KA-07	撤去図7(新築時)	KS-05	撤去図5(新築時)	MT-02	機械設備 配置図・案内図・凡例等(撤去)	E-23	電話・情報通信・テレビ共同受信設備 系統図・端子盤リスト
A-23	屋階平面図 - 改修前	KA-08	撤去図8(新築時)	KS-06	撤去図6(新築時)	MT-03	空調設備 1階配管平面図1(撤去)	E-24	インターホン・トイレ呼出設備 機器姿図・系統図
A-24	1階平面図 - 改修後	KA-09	撤去図9(新築時)	KS-07	撤去図7(新築時)	MT-04	空調設備 2階配管平面図1(撤去)	E-25	弱電設備 1階平面図
A-25	2階平面図 - 改修後	KA-10	撤去図10(新築時)	KS-08	撤去図8(新築時)	MT-05	空調設備 1階配管平面図2(撤去)	E-26	弱電設備 2階平面図
A-26	屋階平面図 - 改修後	KA-11	撤去図11(新築時)	KS-09	撤去図9(新築時)	MT-06	空調設備 2階配管平面図2(撤去)	E-27	自動火災報知設備 凡例・注記・系統図
A-27	ピット図 - 改修前・改修後	KA-12	撤去図12(新築時)	KS-10	撤去図10(新築時)	MT-07	衛生設備 屋外配管平面図(撤去)	E-28	自動火災報知設備 1階平面図
A-28	立面図 - 改修前	KA-13	撤去図13(新築時)	KS-11	撤去図11(新築時)	MT-08	衛生設備 1階配管平面図(撤去)	E-29	自動火災報知設備 2階平面図
A-29	立面図 - 改修後	KA-14	撤去図14(新築時)	KS-12	撤去図12(H19改修時)	MT-09	衛生設備 2階配管平面図(撤去)		
A-30	断面図1 - 改修前・改修後	KA-15	撤去図15(新築時)	KS-13	撤去図13(H19改修時)	MT-10	衛生設備 配管詳細平面図1(撤去)		
A-31	断面図2 - 改修前・改修後	KA-16	撤去図16(新築時)	KS-14	撤去図14(H19改修時)	MT-11	衛生設備 配管詳細平面図2(撤去)	KE-01	電気設備 外構図(撤去図)
A-32	矩計図1 - 改修前・改修後	KA-17	撤去図17(新築時)	KS-15	撤去図15(H19改修時)			KE-02	電気設備 特記仕様書・凡例・配置図(撤去図)
A-33	矩計図2 - 改修前・改修後	KA-18	撤去図18(新築時)	KS-16	撤去図16(H19改修時)			KE-03	幹線・動力・弱電設備 1階平面図(撤去図)
A-34	矩計図3 - 改修前・改修後	KA-19	撤去図19(新築時)					KE-04	幹線・動力・弱電設備 2階平面図(撤去図)
A-35	エレベーター増築部詳細図1	KA-20	撤去図20(新築時)					KE-05	動力・弱電設備 R階平面図(撤去図)
A-36	エレベーター増築部詳細図2	KA-21	撤去図21(新築時)					KE-06	分電盤リスト・幹線・弱電設備 系統図(撤去図)
A-37	EXP・J詳細図(参考図)	KA-22	撤去図22(新築時)					KE-07	照明器具・弱電設備 参考姿図(撤去図)
A-38	エレベーター標準図1 (参考図)	KA-23	撤去図23(新築時)					KE-08	電灯設備 1階平面図(撤去図)
A-39	エレベーター標準図2 (参考図)	KA-24	撤去図24(新築時)					KE-09	電灯設備 2階平面図(撤去図)
A-40	階段1・屋根詳細図1	KA-25	撤去図25(新築時)					KE-10	自動火災報知設備 凡例・系統図(撤去図)
A-41	階段1・屋根詳細図2	KA-26	撤去図26(新築時)					KE-11	自動火災報知設備 1階平面図(撤去図)
A-42	1階 平面詳細図 - 1 既存+改修後(職員室,一時保育室)	KA-27	撤去図27(新築時)					KE-12	自動火災報知設備 2階平面図(撤去図)
A-43	1階 平面詳細図 - 2 既存+改修後(0,1歳児保育室)	KA-28	撤去図28(新築時)						
A-44	1階 平面詳細図 - 3 既存+改修後(給食室)	KA-29	撤去図29(新築時)						
A-45	1階 平面詳細図 - 4 既存+改修後(2歳児保育室,洗濯室)	KA-30	撤去図30(新築時)						
A-46	2階 平面詳細図 - 1 既存+改修後(多目的ホール)	KA-31	撤去図31(新築時)						
A-47	2階 平面詳細図 - 2 既存+改修後(4,5歳児保育室)	KA-32	撤去図32(H7改修時)						
A-48	2階 平面詳細図 - 3 既存+改修後(屋根,EVホール)	KA-33	撤去図33(H7改修時)						
A-49	2階 平面詳細図 - 4 既存+改修後(3歳児保育室,トイレ)	KA-34	撤去図34(H7改修時)						
A-50	展開図1	KA-35	撤去図35(H7改修時)						
A-51	展開図2	KA-36	撤去図36(H7改修時)						
A-52	展開図3	KA-37	撤去図37(H19改修時)						
A-53	展開図4	KA-38	撤去図38(H19改修時)						
A-54	展開図5	KA-39	撤去図39(H19改修時)						
A-55	展開図6	KA-40	撤去図40(H19改修時)						
A-56	展開図7	KA-41	撤去図41(H19改修時)						
A-57	展開図8	KA-42	撤去図42(H19改修時)						
A-58	天井伏図	KA-43	撤去図43(H19改修時)						
A-59	建具キープラン								
A-60	建具表 - 1								
A-61	建具表 - 2	建築図参考資料	アスベスト調査報告書						
A-62	建具表 - 3								
A-63	建具詳細図1(AW-32)								
A-64	建具詳細図2(AW-32)								
A-65	家具キープラン								
A-66	家具詳細図 - 1								
A-67	家具詳細図 - 2								
A-68	家具詳細図 - 3								

公共建築工事標準仕様書																																																																																										
章	項目	特記事項																																																																																								
4	有機系接着剤による タイル張り	<p>タイルの形状・寸法等 (11.3.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法</th> <th>水準による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材の有無</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐汚濁性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>Ⅰ種</td> <td>Ⅱ種</td> <td>Ⅲ種</td> <td>Ⅳ種</td> <td>Ⅴ種</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲り役物は一体成形とする 内装タイル接着剤の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 下地調整塗料塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法(高圧水洗処理)・MCR工法 目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 伸縮調整目地及びその他の目地 ※変成シリコン系シーリング材 外装タイルの目地詰め ・行う・行わない</p>					施工箇所	種類	形状/寸法	水準による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の有無	耐凍害性	耐汚濁性	備考			Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	Ⅳ種	Ⅴ種	有	有	有																																																															
		施工箇所	種類	形状/寸法	水準による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の有無	耐凍害性	耐汚濁性	備考																																																																														
		Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	Ⅳ種	Ⅴ種	有	有	有																																																																																	
12	① 施工一般 ② 製材	<p>材料のホルムアルデヒド放散量 (12.2.1) ※F☆☆☆☆又は標準仕様書 12.2.1(1)(a)(b)による</p> <p>JAS 1083-5 製材-第5部に基づく 下地用製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1) (表12.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>図示</td> <td>※2級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td>図示</td> <td>※小節</td> <td>※A種</td> <td>○B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種</td> <td>○B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>全般</td> <td>図示</td> <td>※1等</td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>図示</td> <td>() 造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>※A種・B種</td> <td>適用する ○適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>※A種・B種</td> <td>適用する ○適用しない</td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	図示	図示	※2級	※A種・B種					※2級	※A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	見え掛り面	図示	※小節	※A種	○B種		見え掛り面以外		※小節以上	※A種	○B種					※A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	全般	図示	※1等	※10%以下					※1等	※10%以下			施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用	図示	図示	() 造作材の場合 (※A種・B種)	※A種・B種	適用する ○適用しない				造作材の場合 (※A種・B種)	※A種・B種	適用する ○適用しない							
		施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																			
図示	図示	※2級	※A種・B種																																																																																							
		※2級	※A種・B種																																																																																							
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																					
見え掛り面	図示	※小節	※A種	○B種																																																																																						
見え掛り面以外		※小節以上	※A種	○B種																																																																																						
			※A種・B種																																																																																							
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																					
全般	図示	※1等	※10%以下																																																																																							
		※1等	※10%以下																																																																																							
施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																					
図示	図示	() 造作材の場合 (※A種・B種)	※A種・B種	適用する ○適用しない																																																																																						
		造作材の場合 (※A種・B種)	※A種・B種	適用する ○適用しない																																																																																						
3	造作用集成材	<p>(12.2.1)</p> <p>「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」による化粧びり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の化粧びり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	品名	樹種名	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用						※1等・2等							※1等・2等		施工箇所	品名	樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用				化粧薄板: 芯材:			※1等・2等					化粧薄板: 芯材:			※1等・2等		施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用					※15%以下						※15%以下		施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用				化粧薄板: 芯材:		※15%以下					化粧薄板: 芯材:		※15%以下	
		施工箇所	品名	樹種名	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																		
					※1等・2等																																																																																					
					※1等・2等																																																																																					
施工箇所	品名	樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																			
			化粧薄板: 芯材:			※1等・2等																																																																																				
			化粧薄板: 芯材:			※1等・2等																																																																																				
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																					
				※15%以下																																																																																						
				※15%以下																																																																																						
施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																				
			化粧薄板: 芯材:		※15%以下																																																																																					
			化粧薄板: 芯材:		※15%以下																																																																																					
4	造作用単板積層材	<p>(12.2.1)</p> <p>JAS 0701に基づく造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質(化粧加工の有無)</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>JAS 0701以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質(化粧加工の有無)</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()</td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()</td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質(化粧加工の有無)	防虫処理の適用	間伐材等の適用				・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()	・する ・しない					・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()	・する ・しない		施工箇所	寸法(mm)	表面の品質(化粧加工の有無)	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用			・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()	※14%以下	・する ・しない				・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()	※14%以下	・する ・しない																																																	
		施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質(化粧加工の有無)	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																			
			・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()	・する ・しない																																																																																						
			・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()	・する ・しない																																																																																						
施工箇所	寸法(mm)	表面の品質(化粧加工の有無)	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																					
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()	※14%以下	・する ・しない																																																																																						
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()	※14%以下	・する ・しない																																																																																						

⑤	合板等	<p>JAS 3079に基づくCLT(直交集成板)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(12.2.1)</p> <p>「合板の日本農林規格」による普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>単板の樹種名</th> <th>強度等級</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>下地</td> <td>※5.5</td> <td>※1類</td> <td>広葉樹 ※2等以上</td> <td>・1等</td> <td>・2類</td> <td>針葉樹 ※C-D以上</td> <td>・する ○しない</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>単板の樹種名</th> <th>強度等級</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>※1類</td> <td>※2級</td> <td>※C-D以上</td> <td>・1級</td> <td>・2級</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類・2類</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>防虫処理の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類・2類</td> <td></td> <td>・する ・しない</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理の適用</th> </tr> <tr> <td>壁壁</td> <td></td> <td>・1類・2類</td> <td></td> <td>不燃</td> <td>・する ・しない</td> </tr> </table> <p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> <td>※15</td> </tr> </table> <p>JAS 0360に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法(mm)	間伐材等の適用									施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	強度等級	防虫処理の適用	間伐材等の適用	下地	※5.5	※1類	広葉樹 ※2等以上	・1等	・2類	針葉樹 ※C-D以上	・する ○しない	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	単板の樹種名	強度等級	防虫処理の適用	間伐材等の適用		※12	※1類	※2級	※C-D以上	・1級	・2級	・適用する ・適用しない		施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用				・1類・2類	・する ・しない		施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理の適用			・1類・2類		・する ・しない	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用	壁壁		・1類・2類		不燃	・する ・しない	施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)			※13タイプ	※P又はM		※15	施工箇所	寸法(mm)			施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)						
		施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法(mm)	間伐材等の適用																																																																																																													
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	強度等級	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																															
下地	※5.5	※1類	広葉樹 ※2等以上	・1等	・2類	針葉樹 ※C-D以上	・する ○しない																																																																																																															
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	単板の樹種名	強度等級	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																														
	※12	※1類	※2級	※C-D以上	・1級	・2級	・適用する ・適用しない																																																																																																															
施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																	
			・1類・2類	・する ・しない																																																																																																																		
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理の適用																																																																																																																		
		・1類・2類		・する ・しない																																																																																																																		
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用																																																																																																																	
壁壁		・1類・2類		不燃	・する ・しない																																																																																																																	
施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)																																																																																																																	
		※13タイプ	※P又はM		※15																																																																																																																	
施工箇所	寸法(mm)																																																																																																																					
施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)																																																																																																																	
⑥	接合具等	<p>造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2) ※隠し釘打ち・釘埋め木・つよし釘打ち・釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 ※かすがい、産金、箱金物及び短冊金物 (標準仕様書表12.2.3~5に示す程度の市販品 表14.2.2のF種程度) (形状: 寸法: 材質:)</p> <p>接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ (12.2.2, 3) ・薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理 (12.3.1, 2)</p> <p>薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理</p> <p>適用部位 () 合板等の加圧注入による防腐、防蟻処理 適用部位 ()</p>					適用部材	処理の方法	薬剤の種類			※JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																										
		適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																		
		※JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																				
⑦	内部間仕切軸組及び床組み	<p>(12.4.1) 間仕切軸組 ・杉又は松 床組 ○杉又は松</p> <p>(12.5.1) 窓、出入口その他 吊元枠、水掛かりの下枠及び敷居 ※ひのき その他 ※松又は杉</p> <p>(12.6.1) 線甲板及び上がりがまち ○ひのき</p> <p>(12.7.1) 壁脚線、野縁受桟、野縁及び吊木 ※杉又は松</p>																																																																																																																				

13	屋根及び とい工事	<p>1 長尺金属板葺 (13.2.1~3)(13.2.2, 3)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※JIS G 3322の屋根用 着色 ・有 ・</td> <td>・5類 (AZ150)</td> <td>・0.4 ・0.5</td> <td>・心木なし五葺葺 ・立て平葺・蟻掛葺 ・横葺</td> <td></td> </tr> </table> <p>下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ) 横葺きの場合のけらば納め ・つかみ込み納め ・けらば包み納め</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 雪止め ・設置する(施工箇所 ※図示) ・設置しない</p> <p>(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山びり</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>低学年棟 渡り廊下</td> <td>・重ね形 ・はげ縮形 ・かん合形</td> <td>90</td> <td>600</td> <td>()類</td> <td>※鋼板製 ・7M2以上 合金板製</td> <td>0.8</td> <td>・有り ・無し ・30分</td> </tr> </table> <p>材料 鋼板の種類(※JIS G 3322の屋根用(着色 ・有 ・)) 塗膜の耐久性の種類、めっき付着量(・5類(AZ150)) 断熱材 ・有り(種別:グラスウール 厚さ(mm):100 防火性能: 時間) 無し</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 耐震性能に対応した工法の適用 ・適用する ・適用しない 折板のけらば納め ※けらば包みによる方法 雪止め ・設置する(施工箇所 ※図示) ・設置しない</p> <p>(13.4.2, 3)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>大きさ</th> <th>産地</th> <th>役物瓦の種類</th> <th>雪止め瓦の使用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>製法による区分</td> <td>形状による区分</td> <td>寸法による区分</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・する ・しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・する ・しない</td> </tr> </table> <p>瓦葺の防火瓦の使用 ・適用する ・適用しない JIS A 520Bに基づく凍害試験等 ※行わない ・行う () 瓦葺材 材質 ※杉・ひのき 寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上 棟補強用心材 材質 ※杉・ひのき 寸法 ※幅40×高さ30(mm)以上 瓦葺結用釘又はねじ 種類 () 径 () 長さ () 棟補強等に使用する金物等 材質 ・ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状、寸法及び留付け方法 ※図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等 ※図示による 瓦葺木留付け工法 ※図示 棟の工法 ・7等伏せ又はF形用冠瓦伏せ棟 ・のし横み棟 面戸、後口、裏口の露出する互接合部に仕上げを施す場合 ・モルタル ・瓦葺用しゅくい</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等 ※図示による 瓦葺木留付け工法 ※図示 棟の工法 ・7等伏せ又はF形用冠瓦伏せ棟 ・のし横み棟 面戸、後口、裏口の露出する互接合部に仕上げを施す場合 ・モルタル ・瓦葺用しゅくい</p> <p>その他の材種 (13.5.2, 3)(表13.5.1, 2, 4) ○配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ルーフドレン ・表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類) とい受け金物 材種 ※標準仕様書表13.5.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの) ・SUS 形状 ※市販品(とい径100以下) ・25×4.5(mm)以上(とい径100超) 取付け間隔 ※標準仕様書表13.5.2による</p> <p>足金物 材種 ※標準仕様書表13.5.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの) ・SUS 形状 ※市販品 取付け間隔 ※標準仕様書表13.5.2による 多雪地域の場合の軒といの取付間隔 ※0.5m以下 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 鋼管製といの防露巻き ※標準仕様書表13.5.4による</p> <p>ルーフドレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ろく屋根用たて形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80 ・125 ・150</td> <td>○100</td> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80 ・125 ・150</td> <td>・100 ・150</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>・ねじ込み式 ・差し込み式</td> <td>・50 ・75 ・100</td> </tr> <tr> <td>○バルコニー用</td> <td>・ねじ込み式 ○差し込み式</td> <td>・50 ・75 ○100</td> </tr> </table>					施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考		※JIS G 3322の屋根用 着色 ・有 ・	・5類 (AZ150)	・0.4 ・0.5	・心木なし五葺葺 ・立て平葺・蟻掛葺 ・横葺		施工箇所	形式	山高、山びり	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	防火性能	低学年棟 渡り廊下	・重ね形 ・はげ縮形 ・かん合形	90	600	()類	※鋼板製 ・7M2以上 合金板製	0.8	・有り ・無し ・30分	施工箇所	種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦の使用		製法による区分	形状による区分	寸法による区分								・する ・しない						・する ・しない	種別	呼び	施工箇所	○ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80 ・125 ・150	○100	・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80 ・125 ・150	・100 ・150	・バルコニー中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式	・50 ・75 ・100	○バルコニー用	・ねじ込み式 ○差し込み式	・50 ・75 ○100
		施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考																																																																		
	※JIS G 3322の屋根用 着色 ・有 ・	・5類 (AZ150)	・0.4 ・0.5	・心木なし五葺葺 ・立て平葺・蟻掛葺 ・横葺																																																																					
施工箇所	形式	山高、山びり	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	防火性能																																																																		
低学年棟 渡り廊下	・重ね形 ・はげ縮形 ・かん合形	90	600	()類	※鋼板製 ・7M2以上 合金板製	0.8	・有り ・無し ・30分																																																																		
施工箇所	種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦の使用																																																																				
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分																																																																						
					・する ・しない																																																																				
					・する ・しない																																																																				
種別	呼び	施工箇所																																																																							
○ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80 ・125 ・150	○100																																																																							
・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80 ・125 ・150	・100 ・150																																																																							
・バルコニー中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式	・50 ・75 ・100																																																																							
○バルコニー用	・ねじ込み式 ○差し込み式	・50 ・75 ○100																																																																							
14	金属 工事	<p>1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所(成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>・AB-1種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AC-1種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BA-1種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BA-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BB-1種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BC-1種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>陽極酸化皮膜の着色方法 色合等 ・二次電解着色 ・三次電解着色 ・シルバー ・ブロンズ ・ブラックス ・ステンカラー ・特注色()</p>					種別	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)	・AB-1種		・AB-2種		・AC-1種		・AC-2種		・BA-1種		・BA-2種		・BB-1種		・BB-2種		・BC-1種		・BC-2種		・C種																																												
		種別	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)																																																																						
・AB-1種																																																																									
・AB-2種																																																																									
・AC-1種																																																																									
・AC-2種																																																																									
・BA-1種																																																																									
・BA-2種																																																																									
・BB-1種																																																																									
・BB-2種																																																																									
・BC-1種																																																																									
・BC-2種																																																																									
・C種																																																																									
④	とい	<p>15</p>																																																																							

2	鉄鋼の垂鉛めっき	<p>(14.2.2)(表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ以外)</th> </tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気亜鉛めっき</td> <td>・E種 ・F種</td> <td></td> </tr> </table> <p>野縁等の種類 (14.4.2~4)(表14.4.1) 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形) 屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 ※図示 周辺の端からの間隔 ※図示 野縁の間隔 ※図示 ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井ふとところ3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>(14.5.3, 4)(表14.5.1) スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書表14.5.4(5)による</p> <p>(14.6.2, 3)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>製法</th> <th>形状</th> <th>板幅(mm)</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム</td> <td>・押出し ・ロール ・プレス</td> <td>・Aノド形 ・ハネ形</td> <td></td> <td></td> <td>色合い等</td> </tr> </table> <p>取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ※図示 伸縮調整手 設ける(施工箇所 ※図示) () ・設けない 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>種類 ・250形 ・300形 ・350形 ○図示 (14.7.2, 3)(表14.2.1)(表14.7.1) 表面処理 種別 (A-1)種 色合等 ・標準色() ・特注色() 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p>					表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)	溶融亜鉛めっき	・A種 ・B種 ・C種 ・D種		電気亜鉛めっき	・E種 ・F種		種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理	・アルミニウム	・押出し ・ロール ・プレス	・Aノド形 ・ハネ形			色合い等																																																																														
		表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)																																																																																																					
溶融亜鉛めっき	・A種 ・B種 ・C種 ・D種																																																																																																								
電気亜鉛めっき	・E種 ・F種																																																																																																								
種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理																																																																																																				
・アルミニウム	・押出し ・ロール ・プレス	・Aノド形 ・ハネ形			色合い等																																																																																																				
5	金属成形板張り	<p>(14.6.2, 3)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>製法</th> <th>形状</th> <th>板幅(mm)</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム</td> <td>・押出し ・ロール ・プレス</td> <td>・Aノド形 ・ハネ形</td> <td></td> <td></td> <td>色合い等</td> </tr> </table> <p>取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ※図示 伸縮調整手 設ける(施工箇所 ※図示) () ・設けない 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>種類 ・250形 ・300形 ・350形 ○図示 (14.7.2, 3)(表14.2.1)(表14.7.1) 表面処理 種別 (A-1)種 色合等 ・標準色() ・特注色() 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p>					種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理	・アルミニウム	・押出し ・ロール ・プレス	・Aノド形 ・ハネ形			色合い等																																																																																							
		種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理																																																																																																		
・アルミニウム	・押出し ・ロール ・プレス	・Aノド形 ・ハネ形			色合い等																																																																																																				
15	左官 工事	<p>①モルタル塗り (15.3.2, 5) モルタル ・現場調合材料 ○既調合材料 () 形状(※図示) () 既製地材 ○設ける(施工箇所() 図示) 形状(※図示) () ・設けない 床の目地 ・設ける(目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度)) (種別 ※押し目地) () ・設けない 屋外のタイル張り下地及び室内の吹付部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び 下地調整塗料塗りの接着力試験 ・適用する ○適用しない</p> <p>2 せっこうボード その他のボード下地 (15.2.5) せっこうボード及びせっこうラボードの種類及び厚さ 種類(・GB-R GB-L) 厚さ(mm) 木質系セメント板の種類及び厚さ 種類() 厚さ(mm)</p> <p>③仕上塗材仕上げ (15.6.2) 内装仕上げに用いる塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 仕上塗材の種類 薄付け仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 Si</td> <td>-</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 Si</td> <td>-</td> <td>○ゆず肌状(・吹付け ○ローラー塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>-</td> <td>・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>○可とう形外装薄塗材 E</td> <td>-</td> <td>・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>-</td> <td>・凹凸状(・吹付け ・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>-</td> <td>・着色骨材砂壁状(・吹付け ・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 C</td> <td>-</td> <td>・砂壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 L</td> <td>-</td> <td>・京壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 Si</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 E</td> <td>-</td> <td>吸放湿性 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 W</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table> <p>厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 C</td> <td>-</td> <td>・吹放し・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 Si</td> <td>-</td> <td>・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 E</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 C</td> <td>-</td> <td>吸放湿性 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 L</td> <td>-</td> <td>上塗材 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 G</td> <td>-</td> <td>外装厚塗材 Cの上塗材 ・セツトコ</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 Si</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 E</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table> <p>複層仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td>・複層塗材 CE</td> <td>-</td> <td>○ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 CE</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 Si</td> <td>-</td> <td>耐候性 ※耐候形1種</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td>-</td> <td>上塗材</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 RE</td> <td>-</td> <td>溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 CE</td> <td>-</td> <td>樹脂 ・アクリル系</td> </tr> <tr> <td>○防水形複層塗材 E</td> <td>-</td> <td>外観 ※つやあり ・つやなし</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RE</td> <td>-</td> <td>・メタリック</td> </tr> </table> <p>軽量骨材仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td>・吹付用軽量塗材</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・こて塗り軽量塗材</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table> <p>4 マスチック塗料塗り (15.7.2) 種別 ・A種 ・B種</p> <p>⑤ロックウール吹付け (15.12.2, 3) ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ () 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 吹付け厚さ(mm) ○図示 ・25</p>					呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・外装薄塗材 Si	-	・砂壁状	・可とう形外装薄塗材 Si	-	○ゆず肌状(・吹付け ○ローラー塗り)	・外装薄塗材 E	-	・さざ波状	○可とう形外装薄塗材 E	-	・平たん状	・防水形外装薄塗材 E	-	・凹凸状(・吹付け ・こて塗り)	・外装薄塗材 S	-	・着色骨材砂壁状(・吹付け ・こて塗り)	・内装薄塗材 C	-	・砂壁状じゅらく	・内装薄塗材 L	-	・京壁状じゅらく	・内装薄塗材 Si	-		・内装薄塗材 E	-	吸放湿性 ・適用する ・適用しない	・内装薄塗材 W	-		呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・外装厚塗材 C	-	・吹放し・凸部処理 ・平たん状	・外装厚塗材 Si	-	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・外装厚塗材 E	-		・内装厚塗材 C	-	吸放湿性 ・適用する ・適用しない	・内装厚塗材 L	-	上塗材 ・適用する ・適用しない	・内装厚塗材 G	-	外装厚塗材 Cの上塗材 ・セツトコ	・内装厚塗材 Si	-		・内装厚塗材 E	-		呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・複層塗材 CE	-	○ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状	・可とう形複層塗材 CE	-		・複層塗材 Si	-	耐候性 ※耐候形1種	・複層塗材 E	-	上塗材	・複層塗材 RE	-	溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系	・防水形複層塗材 CE	-	樹脂 ・アクリル系	○防水形複層塗材 E	-	外観 ※つやあり ・つやなし	・防水形複層塗材 RE	-	・メタリック	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・吹付用軽量塗材	-		・こて塗り軽量塗材	-	
		呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																					
・外装薄塗材 Si	-	・砂壁状																																																																																																							
・可とう形外装薄塗材 Si	-	○ゆず肌状(・吹付け ○ローラー塗り)																																																																																																							
・外装薄塗材 E	-	・さざ波状																																																																																																							
○可とう形外装薄塗材 E	-	・平たん状																																																																																																							
・防水形外装薄塗材 E	-	・凹凸状(・吹付け ・こて塗り)																																																																																																							
・外装薄塗材 S	-	・着色骨材砂壁状(・吹付け ・こて塗り)																																																																																																							
・内装薄塗材 C	-	・砂壁状じゅらく																																																																																																							
・内装薄塗材 L	-	・京壁状じゅらく																																																																																																							
・内装薄塗材 Si	-																																																																																																								
・内装薄塗材 E	-	吸放湿性 ・適用する ・適用しない																																																																																																							
・内装薄塗材 W	-																																																																																																								
呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																							
・外装厚塗材 C	-	・吹放し・凸部処理 ・平たん状																																																																																																							
・外装厚塗材 Si	-	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし																																																																																																							
・外装厚塗材 E	-																																																																																																								
・内装厚塗材 C	-	吸放湿性 ・適用する ・適用しない																																																																																																							
・内装厚塗材 L	-	上塗材 ・適用する ・適用しない																																																																																																							
・内装厚塗材 G	-	外装厚塗材 Cの上塗材 ・セツトコ																																																																																																							
・内装厚塗材 Si	-																																																																																																								
・内装厚塗材 E	-																																																																																																								
呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																							
・複層塗材 CE	-	○ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状																																																																																																							
・可とう形複層塗材 CE	-																																																																																																								
・複層塗材 Si	-	耐候性 ※耐候形1種																																																																																																							
・複層塗材 E	-	上塗材																																																																																																							
・複層塗材 RE	-	溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系																																																																																																							
・防水形複層塗材 CE	-	樹脂 ・アクリル系																																																																																																							
○防水形複層塗材 E	-	外観 ※つやあり ・つやなし																																																																																																							
・防水形複層塗材 RE	-	・メタリック																																																																																																							
呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																							
・吹付用軽量塗材	-																																																																																																								
・こて塗り軽量塗材	-																																																																																																								

<p>6 しょくい塗り</p> <p>しょくい</p> <p>(15.10.2~4)</p>	<p>既調合材料</p> <p>色しょくい ・適用する ・適用しない</p> <p>下地</p> <p>・せっこうボード ・せっこうラスボード ・モルタル塗り ・木ずり</p> <p>こまい ・下塗りをせっこうフラスターとし上塗りに使用する場合</p> <p>既調合しょくいの割合</p> <p>・せっこうボード下地 ※標準仕様書表15.10.1</p> <p>・モルタル塗り下地 ※標準仕様書表15.10.2</p> <p>・せっこうラスボード下地 ※製造所の仕様による</p> <p>現場調合しょくいの割合及び各層の塗厚</p> <p>・木ずり下地 ※標準仕様書表15.10.3</p> <p>・せっこうフラスター下地 ・こまい下地 ※標準仕様書表15.10.4</p> <p>既調合しょくいの上塗り仕上げ方法</p> <p>・なで切り仕上げ ・パターン仕上げ</p>	<p>⑩ 木製建具</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 (16.7.2~4)</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>○フラッシュユ</p> <p>表面材のホルムアルデヒド放散量等</p> <p>※標準仕様書16.7.2(2)(a)による</p> <p>表面材の合板の種類</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>板面の品質 (※広葉樹1号)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○天然木化粧合板</td> <td>樹種名 (シナ)</td> <td>建具表による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※プリント</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ポリエステル化粧合板</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・メラミン化粧合板</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○MDF</td> <td>シート貼り</td> <td>建具表による</td> </tr> </tbody> </table> <p>表面板の厚さ ※表16.7.6による</p> <p>引戸の合せかまのいんろうけの適用 ・適用しない ・適用する</p> <p>○かまの樹種 (シナ) 鏡板樹種 ()</p> <p>見込み寸法 ※36mm ○建具表による</p> <p>・ふすま</p> <p>張りの種別 (・I型 ・II型)</p> <p>上張り(挿入等の裏側以外) ※図示による</p> <p>縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装)</p> <p>見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>表面板の仕上 ・建具表による</p> <p>○戸ふすま</p> <p>表面板の仕上 ○建具表による</p> <p>見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・紙張り障子</p> <p>見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・種及びつずりの材料 ○建具表による</p>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種			板面の品質 (※広葉樹1号)			接着の程度 (・1類 ・2類)		○天然木化粧合板	樹種名 (シナ)	建具表による		接着の程度 (・1類 ・2類)		・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法			※プリント			・ポリエステル化粧合板			・メラミン化粧合板			接着の程度 (・1類 ・2類)		○MDF	シート貼り	建具表による	<p>⑬ ガラス</p> <p>(16.14.2~4)(図16.14.1)</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さの組み合わせは建具表及び図面による。</p> <p>フロート板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>図示</p> <p>型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による</p> <p>図示</p> <p>納入り板ガラス、線入り板ガラスの網、線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>図示</p> <p>・合わせガラス</p> <p>材料ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びに合わせガラスの合計厚さ、特性による種類 ※建具表による</p> <p>図示</p> <p>形状 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス</p> <p>落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性</p> <p>・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類</p> <p>○強化ガラス</p> <p>形状による種類、材料ガラスの種類による名称、特性による種類</p> <p>※建具表による</p> <p>図示</p> <p>破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類</p> <p>・熱線吸収板ガラス</p> <p>板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類</p> <p>※建具表による</p> <p>図示</p> <p>性能 ・1種 ・2種</p> <p>○複層ガラス</p> <p>材料ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びに複層ガラスの厚さ</p> <p>※建具表による</p> <p>図示</p> <p>断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6</p> <p>日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G ・S</p> <p>乾燥気体の種類 ○空気 ・アルゴン</p> <p>・熱線反射ガラス</p> <p>材料ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による</p> <p>図示</p> <p>日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種</p> <p>耐久性による区分(日射熱遮へい性が2種の場合) ・A類 ・B類</p> <p>・倍強度ガラス</p> <p>材料ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による</p> <p>図示</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>○シーリング材</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・グレイジングチャンネル</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>○シーリング材</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・シーリング材</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・グレイジングチャンネル</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table>	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	○シーリング材	・図示による		・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材	・図示による		・	※建具の製造所の仕様による	ステンレス製	・シーリング材	・図示による		・	※建具の製造所の仕様による	樹脂製	・グレイジングチャンネル	・図示による		・	※建具の製造所の仕様による	<p>3 PCカーテンウォール</p> <p>(17.3.2~6)(表17.3.1、2)</p> <p>取付け</p> <p>躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差</p> <p>鉛直方向 ※±10mm</p> <p>水平方向 ※±25mm</p> <p>カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差</p> <p>目地の幅 ※±3mm</p> <p>目地の心の通り ※0~2mm</p> <p>目地両側の段差 ※0~2mm</p> <p>各層の基準面から各部材までの距離 ※±3mm</p> <p>耐火処理 適用部位、材料等 図示による</p> <p>ガラスの取付け材料</p> <p>ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法 ※4辺支持</p> <p>(17.3.2~6)(表17.3.1、2)</p> <p>材料</p> <p>コンクリート 種類 (・普通コンクリート ・軽量コンクリート1種)</p> <p>品質 設計基準強度(Fc) ※30N/mm²</p> <p>スランプ ※12cm</p> <p>気乾単位容積質量</p> <p>・普通コンクリートの場合 2.1t/m³を超え2.5t/m³以下</p> <p>・軽量コンクリートの場合 1.8t/m³~2.1t/m³</p> <p>鉄筋 種類記号 ※SD295</p> <p>補強鉄線の径(mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0</p> <p>網目寸法</p> <p>シーリング材の種類 (自地等)</p> <p>種類及び寸法等 図示による</p> <p>ガラスの取付け材料</p> <p>・構造ガスケット 形状、寸法等 図示</p> <p>耐火処理</p> <p>適用部位、材料等 図示による</p> <p>断熱材 ()</p> <p>種類及び範囲 図示による</p> <p>先付けの材料</p> <p>・表面仕上げ材</p> <p>・セラミックタイル</p> <p>・石材 (・花こう岩 ・大理石)</p> <p>・建具枠</p> <p>・ゴンドラ用ガイドレール</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>製品に見え掛り部の寸法許容差</p> <p>辺長 ※±3mm</p> <p>曲じれ、そり ※0~5mm</p> <p>対角線長の差 ※0~5mm</p> <p>ねがり ※0~3mm</p> <p>版厚 ※±2mm</p> <p>面の凹凸 ※0~3mm</p> <p>開口部内法寸法 ※±2mm</p> <p>先付け金物の位置 ※0~5mm</p> <p>PCカーテンウォールの仕上げ</p> <p>構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差</p> <p>※図示による</p> <p>製作</p> <p>PC版の配筋 ※図示による</p> <p>取付け</p> <p>躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差</p> <p>鉛直方向 ※±10mm</p> <p>水平方向 ※±25mm</p> <p>カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差</p> <p>目地の幅 ※±5mm</p> <p>目地の心の通り ※0~2mm</p> <p>目地両側の段差 ※0~4mm</p> <p>各層の基準面から各部材までの距離 ※±5mm</p> <p>ガラスの取付け方法</p> <p>・ガラスの取付け材料が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの接着処理の強化を行う</p>																																																																																																																																																				
合板の種類	規格等	備考																																																																																																																																																																																																																						
・普通合板	表面の樹種																																																																																																																																																																																																																							
	板面の品質 (※広葉樹1号)																																																																																																																																																																																																																							
	接着の程度 (・1類 ・2類)																																																																																																																																																																																																																							
○天然木化粧合板	樹種名 (シナ)	建具表による																																																																																																																																																																																																																						
	接着の程度 (・1類 ・2類)																																																																																																																																																																																																																							
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法																																																																																																																																																																																																																							
	※プリント																																																																																																																																																																																																																							
	・ポリエステル化粧合板																																																																																																																																																																																																																							
	・メラミン化粧合板																																																																																																																																																																																																																							
	接着の程度 (・1類 ・2類)																																																																																																																																																																																																																							
○MDF	シート貼り	建具表による																																																																																																																																																																																																																						
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																																																																																																																																						
アルミニウム製	○シーリング材	・図示による																																																																																																																																																																																																																						
	・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																						
鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材	・図示による																																																																																																																																																																																																																						
	・	※建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																						
ステンレス製	・シーリング材	・図示による																																																																																																																																																																																																																						
	・	※建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																						
樹脂製	・グレイジングチャンネル	・図示による																																																																																																																																																																																																																						
	・	※建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																						
<p>⑬ 建具工事</p> <p>1 防火戸 (16.1.3)</p> <p>※建具表による</p> <p>2 見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>建具見本の製作 ・行う (建具符号:) ○行わない</p> <p>建具見本製作の目的等</p> <p>特殊な建具の取組 ・行う (建具符号:) ・行わない</p> <p>3 防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>・適用する (※建具表による) ・適用しない</p> <p>⑭ アルミニウム製建具 (16.2.2~5)(表16.2.1、2)</p> <p>性能値等 (建具符号、枠の見込み寸法: 建具表による)</p> <p>耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ※建具表による</p> <p>図示</p> <p>外部に面する建具の種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>100</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>○A-4</td> <td>○W-5</td> <td>100</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>○A-4</td> <td>○W-5</td> <td>100</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>S-2</td> <td>A-3</td> <td>W-3</td> <td></td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td>S-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ()</p> <p>・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 ()</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1</p> <p>ステンレス製のつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具 種別</p> <p>○BB-1種 ・BB-2種 (標準仕様書表14.2.1)</p> <p>着色</p> <p>○標準色 ・特注色</p> <p>屋内の建具 種別</p> <p>○BC-1種 ・BC-2種 (標準仕様書表14.2.1)</p> <p>着色</p> <p>○標準色 ・特注色</p> <p>結露水の処理方法</p> <p>・水貯め式</p> <p>・排水式</p> <p>工法</p> <p>水切り板、ぜん板 ※図示</p> <p>木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する</p> <p>⑮ 網戸等 (16.2.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※合成樹脂製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ガラス繊維入り合成樹脂製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ステンレス(SUS316)製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 樹脂製建具 (16.2.5)(16.3.2~5)(表16.3.1~3)</p> <p>性能値等 (建具符号、枠の見込み寸法: 建具表による)</p> <p>耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ※建具表による</p> <p>図示</p> <p>外部に面する建具の種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td></td> <td>W-4</td> <td></td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td></td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td></td> <td>W-5</td> <td></td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>S-2</td> <td></td> <td>W-3</td> <td></td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td>S-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 (・T-1種 ・T-2種)</p> <p>・断熱ドア、断熱サッシ ()とする場合 断熱性の等級 ()</p> <p>・断熱性の等級 (・H-4種 ・H-5種 ・H-6種 ・H-7種 ・H-8種)</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級</p> <p>枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>ガラス</p> <p>※複層ガラス (組合せは建具表による)</p> <p>ステンレス製のつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面色</p> <p>・標準色 ・特注色</p> <p>工法</p> <p>水切り板、ぜん板 ※図示</p> <p>木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する</p> <p>⑯ 鋼製建具 (16.2.2)(16.4.2~4)(表16.4.2)</p> <p>性能値等 (建具符号: 建具表による)</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>・耐風圧性の等級 ()</p> <p>・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ()</p> <p>・断熱ドア、断熱サッシ ()とする場合 断熱性の等級 ()</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1</p> <p>ステンレス製のつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板類の厚さ ※標準仕様書表16.4.2による</p> <p>使用箇所 ()</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による</p> <p>⑰ 鋼製軽量建具 (16.2.2)(16.5.2~4、6)</p> <p>性能値等 (建具符号: 建具表による)</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>・耐風圧性の等級 ()</p> <p>・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ()</p> <p>・断熱ドア、断熱サッシ ()とする場合 断熱性の等級 ()</p> <p>材料</p> <p>鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1</p> <p>ステンレス製のつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板類の厚さ ※標準仕様書表16.4.2による</p> <p>使用箇所 ()</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による</p> <p>9 ステンレス製建具 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~5)</p> <p>性能値等 (建具符号: 建具表による)</p> <p>簡易気密型ドアセット (建具符号:) 建具表による</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>・耐風圧性の等級 ()</p> <p>・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ()</p> <p>・断熱ドア、断熱サッシ ()とする場合 断熱性の等級 ()</p> <p>材料</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1、SUS443J1</p> <p>ステンレス製のつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ</p> <p>工法</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	A-3	W-4	100	※図示による	・B種	S-5	○A-4	○W-5	100	※図示による	・C種	S-6	○A-4	○W-5	100	※図示による	・D種	S-2	A-3	W-3		※図示による	・E種	S-3				※図示による	種類	材種	線径	網目	○防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ		・ガラス繊維入り合成樹脂製				・ステンレス(SUS316)製			・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4		W-4		※図示による	・B種	S-5	A-4	W-5		※図示による	・C種	S-6		W-5		※図示による	・D種	S-2		W-3		※図示による	・E種	S-3				※図示による	<p>⑰ 建具用金物 (16.8.2、3)(表16.8.1)</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <p>※標準仕様書表16.8.2による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <p>※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <p>※標準仕様書表16.8.4による</p> <p>木製建具に使用する戸車及びレール</p> <p>※標準仕様書表16.8.5による</p> <p>建具表による</p> <p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>○建具表による</p> <p>⑱ 鍵 (16.8.4)</p> <p>マスターキー ○製作する ()</p> <p>製作しない</p> <p>鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き)</p> <p>鍵箱 ※有り (20個仕様) ・無し</p> <p>⑳ 自動ドア開閉装置 (16.9.2)</p> <p>戸の開閉方式</p> <p>○建具表による</p> <p>引き戸用駆動装置</p> <p>※標準仕様書表16.9.1による (防錆 ・適用する ・適用しない)</p> <p>・種類、開閉方式 () ・耐電圧 ()</p> <p>・温度上昇 () ・耐久性(サイクル) ()</p> <p>・防錆 () ・電源 ()</p> <p>車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 (表16.9.2)</p> <p>※標準仕様書表16.9.2による (防錆 ・適用する ・適用しない)</p> <p>・耐電圧 () ・温度上昇 ()</p> <p>・耐久性(サイクル) () ・防錆 ()</p> <p>・電源 ()</p> <p>引き戸用検出装置 (表16.9.3)</p> <p>※標準仕様書表16.9.3による (防錆 ・適用する ・適用しない)</p> <p>・放射線周波数電磁界耐性 () ・耐電圧 ()</p> <p>・防錆 () ・防滴 () ・電源 ()</p> <p>引き戸用検出装置の種類 (表16.9.4) ・建具表による</p> <p>タッチスイッチの種類</p> <p>・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ</p> <p>車椅子使用者用便房スイッチの種類</p> <p>・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ</p> <p>凍結防止措置 ・行う ・行わない</p> <p>14 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)(表16.10.1)</p> <p>性能 ※標準仕様書表16.10.1による</p> <p>・手動開き力 () ・手動閉じ力 ()</p> <p>・閉じ速度の調整 () ・制動区間 ()</p> <p>・開閉繰返し () ・耐衝撃性 ()</p> <p>15 重量シャッター (16.11.2、3)</p> <p>シャッターの種類</p> <p>・管理用シャッター</p> <p>・外壁用防火シャッター</p> <p>・屋内用防火シャッター</p> <p>・防煙シャッター</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () pa</p> <p>開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式</p> <p>安全装置</p> <p>急降下制御装置、急降下停止装置、障害物感知装置</p> <p>(設置箇所 ・建具表による)</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構</p> <p>(設置箇所 ・建具表による)</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類</p> <p>・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 ※Z12又はF12</p> <p>ガイドレール、まくさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる</p> <p>スイッチボックス類のふたの材質</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1</p> <p>16 軽量シャッター (16.12.2~4)</p> <p>開閉形式の種類 ※手動式 ・電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 () pa</p> <p>安全装置</p> <p>電動シャッターの障害物感知装置</p> <p>(設置箇所 ・建具表による)</p> <p>スラットの材質の種類</p> <p>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっき付着量 ※Z06又はF06</p> <p>めっき付着量 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっき付着量 ※A290</p> <p>スラットの形状 ・インターロック形 ・オーバーラッピング形</p> <p>17 オーバーヘッドドア (16.13.2、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>風圧力による区分</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>・125(1250Pa)</td> <td>※(バランス式) ・スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・100(1000Pa)</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・75(750Pa)</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・50(500Pa)</td> <td></td> <td>・パーチャカル形</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)</p>	セクション材料による区分	風圧力による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料	※スチールタイプ	・125(1250Pa)	※(バランス式) ・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板		・アルミニウムタイプ	・100(1000Pa)	・チェーン式	・ローヘッド形		・ファイバーグラスタイプ	・75(750Pa)	・電動式	・ハイリフト形			・50(500Pa)		・パーチャカル形		<p>19 ガラスブロック積み (16.14.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅(mm)</th> <th>伸縮調整目地位置(mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>壁用金属枠及び補強材 ・図示による</p> <p>骨格 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)</p> <p>寸法 ※径5.5mm</p> <p>形状 ※はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地用タイルの色 (・白 ・グレー)</p> <p>シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1)</p> <p>金属化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製</p> <p>寸法 ※図示</p> <p>形状 ※図示</p> <p>木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ・図示による</p> <p>目地部の横力骨の納まり</p> <p>※ガラスブロック製造所の仕様による</p> <p>図示</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>17 カーテンウォール工事</p> <p>1 取付方法、性能等 (17.1.3)</p> <p>取付け形態による分類</p> <p>・層間方式 ・柱 ・梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密性</th> <th>気密性</th> <th>遮音性</th> <th>断熱性</th> <th>耐火性能</th> <th>耐温度差性 (C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・30分</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1時間</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・60</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐風圧性</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支点間距離(N)</th> <th>耐風圧性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4m以下</td> <td>・たわみ量が≦(1/150)×h かつ絶対値20mm以下であること</td> </tr> <tr> <td>4mを超える</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>性能の確認方法及び判定方法</p> <p>※性能の確認方法及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承認を受ける</p> <p>金属系材料の種類 (17.2.2、3、5、6)</p> <p>・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材</p> <p>シーリング材の種類 (自地等)</p> <p>種類及び寸法等 ※図示による</p> <p>ガラスの取付け材料</p> <p>・シーリング 種類 (・SR-2 ・SR-1)</p> <p>・構造ガスケット 形状、寸法等 図示</p> <p>断熱材 ()</p> <p>種類及び範囲 図示による</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による</p> <p>見え掛り部の仕上げ</p> <p>(アルミニウム材の場合)</p> <p>規格等 ※標準仕様書表16.2.3による</p> <p>種別 (標準仕様書表14.2.1)</p> <p>着色</p> <p>・標準色 ・特注色</p> <p>(鋼材及びステンレス鋼材の場合)</p> <p>ガラス溝の寸法、形状 ※カーテンウォールの製造所の仕様</p>	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能	・160×160	・95					・200×200	・95					水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性 (C)					・30分	・80					・1時間	・70						・60	支点間距離(N)	耐風圧性能	4m以下	・たわみ量が≦(1/150)×h かつ絶対値20mm以下であること	4mを超える	・	<p>⑮ 塗装工事</p> <p>① 材料 (18.1.3)</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする</p> <p>・仕上表による</p> <p>(18.2.2~7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面等</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DPのみ)</td> <td>・A種 ※B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びせっこうラスター面</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)及びALCパネル面</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DPのみ)</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>目地: 継目処理工法 ※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目地: 継目処理工法以外 ・A種 ※B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(18.3.2、3)</p> <p>③ 錆止め塗料塗り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面</th> <th>塗料の種類</th> <th>錆止め塗料の種類</th> <th>錆止め塗料塗りの工程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>A種</td> <td>見え掛け: A種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>C種及びD種</td> <td>見え掛け: B種</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>見え掛け: A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">亜鉛めっき鋼面</td> <td>SOP</td> <td>・A種 ・B種</td> <td>上記以外: B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>B種</td> <td>表18.3.6</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>C種</td> <td>鋼製建具等: C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>上記以外: B種</td> </tr> </tbody> </table>	下地面等	種別	鉄鋼面 (DP以外)	・A種 ・B種 ※C種	鉄鋼面 (DPのみ)	・A種 ※B種 ・C種	亜鉛めっき鋼面	・A種 ※B種	モルタル面及びせっこうラスター面	・A種 ※B種	コンクリート面 (DP以外)及びALCパネル面	・A種 ※B種	押出成形セメント板面	・A種 ※B種	コンクリート面 (DPのみ)	※A種 ・B種	せっこうボード面及びその他ボード面	目地: 継目処理工法 ※A種 ・B種		目地: 継目処理工法以外 ・A種 ※B種	下地面	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工程	鉄鋼面	SOP	A種	見え掛け: A種	DP	C種及びD種	見え掛け: B種	EP-G	・A種 ※B種	見え掛け: A種	亜鉛めっき鋼面	SOP	・A種 ・B種	上記以外: B種	DP	B種	表18.3.6	EP-G	C種	鋼製建具等: C種				上記以外: B種
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																			
・A種	S-4	A-3	W-4	100	※図示による																																																																																																																																																																																																																			
・B種	S-5	○A-4	○W-5	100	※図示による																																																																																																																																																																																																																			
・C種	S-6	○A-4	○W-5	100	※図示による																																																																																																																																																																																																																			
・D種	S-2	A-3	W-3		※図示による																																																																																																																																																																																																																			
・E種	S-3				※図示による																																																																																																																																																																																																																			
種類	材種	線径	網目																																																																																																																																																																																																																					
○防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																																					
	・ガラス繊維入り合成樹脂製																																																																																																																																																																																																																							
	・ステンレス(SUS316)製																																																																																																																																																																																																																							
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																																																					
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																			
・A種	S-4		W-4		※図示による																																																																																																																																																																																																																			
・B種	S-5	A-4	W-5		※図示による																																																																																																																																																																																																																			
・C種	S-6		W-5		※図示による																																																																																																																																																																																																																			
・D種	S-2		W-3		※図示による																																																																																																																																																																																																																			
・E種	S-3				※図示による																																																																																																																																																																																																																			
セクション材料による区分	風圧力による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料																																																																																																																																																																																																																				
※スチールタイプ	・125(1250Pa)	※(バランス式) ・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																																																																																																																					
・アルミニウムタイプ	・100(1000Pa)	・チェーン式	・ローヘッド形																																																																																																																																																																																																																					
・ファイバーグラスタイプ	・75(750Pa)	・電動式	・ハイリフト形																																																																																																																																																																																																																					
	・50(500Pa)		・パーチャカル形																																																																																																																																																																																																																					
呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能																																																																																																																																																																																																																			
・160×160	・95																																																																																																																																																																																																																							
・200×200	・95																																																																																																																																																																																																																							
水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性 (C)																																																																																																																																																																																																																			
				・30分	・80																																																																																																																																																																																																																			
				・1時間	・70																																																																																																																																																																																																																			
					・60																																																																																																																																																																																																																			
支点間距離(N)	耐風圧性能																																																																																																																																																																																																																							
4m以下	・たわみ量が≦(1/150)×h かつ絶対値20mm以下であること																																																																																																																																																																																																																							
4mを超える	・																																																																																																																																																																																																																							
下地面等	種別																																																																																																																																																																																																																							
鉄鋼面 (DP以外)	・A種 ・B種 ※C種																																																																																																																																																																																																																							
鉄鋼面 (DPのみ)	・A種 ※B種 ・C種																																																																																																																																																																																																																							
亜鉛めっき鋼面	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																							
モルタル面及びせっこうラスター面	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																							
コンクリート面 (DP以外)及びALCパネル面	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																							
押出成形セメント板面	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																							
コンクリート面 (DPのみ)	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																							
せっこうボード面及びその他ボード面	目地: 継目処理工法 ※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																							
	目地: 継目処理工法以外 ・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																							
下地面	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工程																																																																																																																																																																																																																					
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛け: A種																																																																																																																																																																																																																					
	DP	C種及びD種	見え掛け: B種																																																																																																																																																																																																																					
	EP-G	・A種 ※B種	見え掛け: A種																																																																																																																																																																																																																					
亜鉛めっき鋼面	SOP	・A種 ・B種	上記以外: B種																																																																																																																																																																																																																					
	DP	B種	表18.3.6																																																																																																																																																																																																																					
	EP-G	C種	鋼製建具等: C種																																																																																																																																																																																																																					
			上記以外: B種																																																																																																																																																																																																																					
		<p>株式会社 桂設計 埼玉事務所</p> <p>KATSURA SEKKEI INC.</p> <p>KATSURA-級建築士登録 第301170号 白頭 若菜</p>		<p>工事名 川島町公立保育園統合整備工事</p> <p>計画 製作 調査 調査</p> <p>業務番号 000000</p> <p>図面名 特記仕様書 - 4</p> <p>縮尺 A1: A3:</p> <p>2026/ 03/ 13</p> <p>図面番号 A-04</p>																																																																																																																																																																																																																				

④ 塗装	(18.4.1~18.12.2)			
	塗装の種類			
	①合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種	※B種
		木部屋内	・A種	※B種
		鉄鋼面	・A種	※B種
		亜鉛めっき鋼面	-	-
	②クリアラッカー塗り (CL)	-	・A種	※B種
	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	-	・A種	※B種
	③耐候性塗料塗り(DP)鉄鋼面	-	-	-
		亜鉛めっき鋼面	-	-
	コウチン面及び押出成形品	・A種	・B種	
	・つや有合成樹脂1%ゾルペイント塗り(EP-G)	・A種	※B種	
	・屋内の木部、鉄鋼面	・A種	※B種	
	亜鉛めっき鋼面	-	-	
④合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	-	・A種	※B種	
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	-	・A種	※B種	
・ステイン塗り	-	・ビギメント塗り	-	
	-	・オキシド塗り(OS)	-	
	-	・A種	※B種	
	-	・A種	※B種	
<p>屋上、屋根面の金属面に塗装する場合は高反射率塗料 [G] とする。 クリアラッカー塗りA種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する(着色剤) ・油性染料着色剤 ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステイン塗りの工程等 ※製造所の仕様による</p>				

⑨ 合成樹脂塗床	(19.4.2、3)(表19.4.4~8)			
	種類	施工箇所	工法	仕上げの種類
	①厚膜型塗床材	床り廊下	・薄膜流しの工法 ・厚膜流しの工法 ・樹脂積り工法	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
	・厚膜型塗床材 ・珪砂樹脂系塗床	-	-	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
	・薄膜型塗床材 ・珪砂樹脂系塗床	-	-	※平滑仕上げ
	②珪砂樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗り)	-	※製造所の指定による	工 塗布量 (kg/m) ※0.25kg/m以上 表面仕上げ ※平滑 ・ 防滑 溶剤 ※水性 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ※標準色
	<p>フローリングのホルムアルデヒド放散量等 (19.5.2~5)(表19.5.1~6) ※標準仕様書19.5.2(2)による 各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆</p>			
	<p>単層フローリング ・フローリングボード1等 工法 ・釘止め工法(・根太張り・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら 厚さ、大きさ ※標準仕様書表19.5.1、3による 仕上げ塗装 ・塗装品 ・無塗装品 間伐材等の適用 ・する ・しない フローリングブロック1等 工法 ※接着工法 樹種 ※なら 厚さ、大きさ ※標準仕様書表19.5.1による 仕上げ塗装 ・塗装品 ・無塗装品 間伐材等の適用 ・する ・しない 接着工法の場合の不燃被覆材 ※合成樹脂発泡シート ・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り</p>			
	<p>11 畳敷き (19.6.2)(表19.6.1) 種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床:・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム [G]) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、 発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳(畳表:・C1 ・C2)</p>			
	<p>⑫せつこうボード、 その他のボード及び 合板張り (19.7.2、3)(表19.7.1) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書 19.7.2(2)(i)(a)~(d)のいずれか</p>			
<p>木質系セメント板 種類 厚さ(mm)、規格等 ・硬質木毛セメント板 [G] ・15 ・20 ・25 ・中質木毛セメント板 [G] ・15 ・20 ・25 ・普通木毛セメント板 [G] ・15 ・20 ・25</p>				
<p>木片セメント板 種類 厚さ(mm)、規格等 ・硬質木片セメント板 [G] ・12 ・15 ・18 ・21 ・普通木片セメント板 [G] ・30</p>				
<p>繊維強化セメント板 ⑬けい酸カルシウム板 普通ボード0.8FK タイプ2(無石綿) ・6 ・8 ⑭化粧けい酸カルシウム板 普通ボード0.8FK タイプ2(無石綿) ○6 ・8 表面への化粧張り等の加工 ・珪砂樹脂系焼付</p>				
<p>火山性ガラス質複層板 ・火山性ガラス質複層板 ・ 図示による</p>				
<p>繊維板 ハードボード(素地) ・素地ハードボード(・未研磨板(RN)・研磨板(RS)) スタンダードボード(無処理) ・内装用化粧ハードボード(DE) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</p>				
<p>テンボードボード(処理) ・素地ハードボード(・未研磨板(RN)・研磨板(RS)) ・外装用化粧ハードボード(DE) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</p>				
<p>・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF) [G] ・3 ・7 ・9 ・12</p>				
<p>・インシュレーションボード [G] A級(・天井仕上 ・内装仕上) ・9 ・12 ・15 ・18</p>				
<p>パーティクルボード ・単板張りパーティクルボード [G] ・無研磨板 VN ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18 ・化粧パーティクルボード [G] ・単板ハードボード DV ・プラスチックボード DO ・塗装 DC ・10(難燃) ・12(難燃)</p>				
<p>吸音材料 ・ロックウール化粧吸音板 ・フラットタイプ (・9(不燃) ・12(不燃)) ・凹凸タイプ (・12(不燃) ・15(不燃)) ・ロックウール吸音ボード1号 ・25 ・グラスウール吸音ボード32K ・25(ガラスクロス包)</p>				

⑩ 壁紙張り	(19.8.2、3)			
	壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆			
	施工箇所	紙	織物	強化ビニル
		・	・	・
		・	・	・
		・	・	・
		・	・	・
		・	・	・
		・	・	・
		・	・	・
<p>14 断熱材 [G] (19.9.2~4) 発散量 ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張り付けの接着剤のM477放散量 ※F☆☆☆☆ ※断熱材打込み工法 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし) ・ (・2種bA ・3種bA ・3種bC ・3種bD) ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ ・フェノールフォーム断熱材 ・ ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種I ・A種IH 吹付け厚さ(mm) 施工箇所 ・ 図示</p>				
<p>⑮フリーアクセスフロア (20.2.2) 施工箇所 構法 寸法(mm) 高さ(mm) 耐震性能 所定荷重(N) 表面仕上げ材 備考 ・層数式 ・支柱調整式 ・500×500 ・1.0G ・3,000 ・5,000 ・帯電防止床タイプ ・4姉ベト</p>				
<p>フリーアクセスフロアの試験方法 ※標準仕様書20.2.2(2)(i)(a)~(d)による 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(i)(a)~(c)による ・以下による パネルの長さの寸法精度() パネルの平面形状(角度)の寸法精度() フリーアクセスフロアの高さの寸法精度() 帯電防止性能 ・評価値(U) ≥0.6以上 ・評価値(U) ≥1.2以上 感電防止性能 漏えい抵抗(R) ≥1×10⁴Ω</p>				
<p>2 移動間仕切 (20.2.3) パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>				
<p>構造形式 構成基材の種類 パネル表面仕上げ 遮音性(dB/500Hz) 防火性能 ・スタッ式(内蔵) ・スタッ式(露出) ・パネル式 ・スタッ式 ・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ・0 ・12 ・20 ・28 ・36 ・不燃</p>				
<p>パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示) ・なし パネル内に取付ける建具のドアクローグ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書 16章 8節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書 19章による。</p>				

3 移動間仕切	(20.2.4)			
	構造形式	操作方法	圧接装置の圧接方法	遮音性(dB/500Hz)
	・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・フッシュ式 ・ハンドル式	・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り
	・36未満 ・36以上	-	-	-
	<p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書 19章による。 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・図示 パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ハンガーレール及びランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に 対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの</p>			
	<p>⑯トイレブース (20.2.5) パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>			
	<p>表面材の種類 脚部種類 ドアエッジの材質 ドアエッジの形状 ・メラミン樹脂系化粧板 ※幅木タイプ ※製造所の標準仕様 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</p>			
	<p>⑰手すり (20.2.6) 材料の種類及び仕上げ ・SUS304 表面処理 ※HL程度 ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき ※標準仕様書表14.2.2による種別(種) ○アルミニウム 表面処理 ※標準仕様書表14.2.1による種別(種) 色合等 標準色() ・特注色() 手すりの握り部分 材種 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所 備考 ・集成材(材種:) ・クワーカー ・30程度 ・35程度 ・45程度 ・ビニル製ハードレール ・30程度 ・35程度 ・45程度 ・樹脂被膜タイプ ・34φ</p>			
	<p>⑱階段滑り止め (20.2.7) 材種 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 形状 ※タイヤ製(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂等) ・タイヤ製 端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし 寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法</p>			
	<p>⑲黒板及びホワイトボード [G] (20.2.9) 区分 ※焼き付け 種類 ○ほうろう ・鋼製 色 ※緑 ○ホワイトボード()</p>			
<p>⑳鏡 (20.2.10) 取付箇所(寸法) 13 (mm) 図示 厚さ(mm) ※5</p>				
<p>㉑表示 (20.2.11) 衝突防止表示 ・設置場所 ※図示による 形状・寸法(・30φ) 材質 (・ステンレス製 ・塩ビシート) ・取付しない 誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 ・室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、 取付け形式等(案内用記号はJIS Z 8210による) ※図示による</p>				
<p>㉒タラップ (20.2.12) 材質及び仕上げ ・SUS304(スリッパ止め加工 ※あり ・なし) ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表 14.2.2による種別(※C種 種))</p>				
<p>㉓煙突ライニング (20.2.13) 適用安全使用温度 工法 ※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)</p>				
<p>㉔ブラインド (20.2.14) 形式 操作方法 操作方法の種類 スラットの材種 スラット幅(mm) スラットの材質 幅・高さ 取付箇所 ・縦形 ・手動 ※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式 ・電動 - ・アルミニウム ※25 ※鋼製 ・図示 ・縦形 ・手動 ※2本操作コード式 ・1本操作コード式 ・電動 - ・アルミスラット ・クロススラット ・80 ※75×80 ・100 合金製 ・図示 縦形ブラインドのスラットの材質 アルミスラット 焼付塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする</p>				
<p>㉕ロールスクリーン (20.2.15) 操作方法 幅、高さ、取付箇所 ・図示 材種 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による スクリーンの仕様 消防法で定める防火性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする</p>				
<p>㉖カーテン (20.2.16) 形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付け箇所 備考 ○シングル ・片引き ・ダブル ○引分け ・ひも引き ・電動 ・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ブレンヒだ 生地仕様 消防法で定める防火性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、 [G] とする 暗幕カーテンの高端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>				
<p>㉗カーテンレール (20.2.16) 材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p>				
<p>㉘ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.16) 溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ○図示 材種 ・集成材(仕上げ) ・アルミニウム製 押出し型材(市販品) 種類(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色() ・特注色() ・鋼製(仕上げ)</p>				

10 砂利敷き	種別 ・A種 (施工範囲：・図示 ・道路 ・) ・B種 (施工範囲：・図示 ・建物周囲他 ・)	(22.9.2)(表22.9.1)
11 路面標示用塗料	路面標示用塗料は JIS K 5665 による。 種類 施工 適用 色 幅(mm) 塗布厚さ(mm) ・1種 常温 液状 白 150 1.0 ・2種 加熱 100 ※3種1号 溶解 粉体状	
☑低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料		

23 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等 2 植栽基盤の整備	土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・行う ・行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ・行わない (23.1.3) (23.2.2)
	植栽 工法 有効土層の厚さ(cm) 整備範囲 土壤改良材	
	・樹木 ※A種 樹高12m以上 (※100・120・150) ・葉張り部分 ・適用する ・B種 (※80・100) ・植栽帯部分 ・適用しない ・C種 樹高7m以上～12m未満 ・D種 (※60・80) 樹高3m以上～7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)	
	※芝、地被類 ※B種 ※20 ・植栽部分 ・適用する ・図示 ・適用しない	
	植栽基盤の排水設備 ・設ける (※図示 ・) ・設けない	

3 植込み用土	・現場発土の良質土 ・客土 ・	(23.2.3)
---------	-----------------	----------

4 土壤改良材	種類及び指定量等 ・バーク堆肥 ☑ 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・50L ・) 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) ☑ 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・10L ・) 材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。	(23.2.3)
---------	---	----------

5 樹木	樹種、寸法、株立数等 ※図示 ・	(23.3.2)
------	------------------	----------

6 支柱	支柱材 ※丸太 (間伐材) ☑ ・真竹 ・ 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・図示	(23.3.2、3)
------	---	------------

7 幹巻き用材料	材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも ・	(23.3.2)
----------	-----------------------	----------

8 芝	種類 ※コウライシバ ・ノシバ ・ 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・べた張り 法面 ・目地張り ※べた張り法面	(23.4.2、3)
-----	---	------------

9 吹付けは種	種子の種類 発芽率 種子の量 (g/m) 備考 ※洋芝類 (採取後2年以内) ※発芽率80%以上 ・	(23.4.2)
---------	--	----------

10 地被類	樹種 コンテナ径 単位面積当たりのコンテナ数 芽立数 ・	(23.4.2)
--------	---------------------------------	----------

11 新植、移植樹木、芝等の枯補償	新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の枯補償を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し	(23.3.4、6)(23.4.7)(23.5.5)
-------------------	---	----------------------------

12 屋上緑化 ☑	植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム ・土壌層の厚さ ・図示 ・ 排水層 ・軽骨材 (層の厚さ：) ・板状成型品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 ※図示 ・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示 ・ 支柱 ・設置する (形式 ・図示 ・) かん水装置 ・設置する (種類 ・) 工法 「屋根ふき材及び屋外に面する構造物の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」 (平成12年5月31日 建設省告示第1458号) に基づく風圧力に対応した工法 ・図示による	(23.5.2～4)
-----------	--	------------

④ 注意事項	① 発生材の処理 発生材の処理は、受注者が適法処理のこと。なお処分については場外搬出処分とし建築廃棄物処理委託契約書 (写) ・ マニフェスト伝票 (写) D、E票を提出のこと ② 質疑・軽微な変更 図面・仕様等の相違・明記の無い場合、又施工上の疑問が生じたときは、監督員と協議の上施工のこと。 現場の取り合い、納まり棟で変更が生じた場合でも、軽微なものについては請負金額の増減は行わない。 ③ 本工事に伴う関係諸官庁への申請・届出等は、受注者の負担にて速やかに行うこと (手数料を含む) ④ 撤去工事 使用機器は低騒音・低振動型の物とし、状況に応じて防音に配慮した施工を行うこと。また、風向きや近隣の状況利用状況に注意し確認の上で施工を行うこと。 ⑤ 車両等 庁舎・近隣に配慮して走行速度、歩行者保護の安全走行、騒音防止、不正軽油の監視、排ガス適合などに注意し、場内でのアイドリングストップを守ること。また資材の納入時の車両に関しても注意を徹底させること。近隣道路に場内からの粉塵。土砂などを拡散させないよう注意すること。 ⑥ 施工等 1) 工事前手前、各工事の進行前には、必ず協議を行うこと。 2) 適宜仮囲い問題が生じていないかの巡回確認を行うこと。 3) 交通・安全誘導員 (警備員) を重機・資材搬出時等には必ず配置すること。 4) 仮設材の位置・仕様・車両の進入方法等、敷地内に乗り入れることができる車両数について、施工前に必ず監督員と協議すること。 5) 工事関係車両は事前に台数・位置について把握し、必ず指定場所に駐車すること。 6) 作業員の新規入場教育は徹底し、名簿は常備すること。休憩場所・トイレ・風紀に充分配慮すること。(仮設トイレの設置場所は充分配慮した位置とし臭気や目視しに対する対策を行うこと。) 7) 施工工程・搬入計画・車両の進入方法等について、施工前に必ず監督員の承諾を得ること。また、施工状況により安全・保安仮設材を適宜設置すること。 8) 車両等の乗り入れにより園庭・舗装に支障が生じた場合は現況復旧とすること。 9) その他特記仕様書・図示記載事項・現場説明書を良く熟知し施工にあたること。
--------	---

④ その他	④ 工法別仕様材料
-------	-----------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

④ システム建築工事	④ 備品
------------	------

公共建築改修工事標準仕様書	
③ 防水改修工事	③ 防水改修工事

③ 防水改修工事	③ 防水改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

④ 外壁改修工事	④ 外壁改修工事
----------	----------

4 外壁改修工事
4.4 樹脂注入工法
4.6 Uカッター材充填工法
4.8 充填工法
4.9 珪藻土塗り工法
4.10~4.15
ファホペン工法
5.5 樹脂注入工法
5.6 Uカッター材充填工法
5.7 珪藻土部分張替え工法
5.8 珪藻土張替え工法
5.9~5.15
ファホペン工法
6.2 一般事項
6.3 既存塗膜等の除去及び下地処理の工法
6.6 マルマ塗り塗り
5 1 改修工法

2 ガラス用フィルム
3 内装改修工事
3.1 改修範囲
3.2 既存床の撤去及び下地補修
3.3 既存壁の撤去及び下地補修
3.4 施工一般
7 塗装改修工事
7.1 材料
7.2 下地調整
7.3 素地こしらえ
7.4 錆止め塗料塗り

5 塗装
5.1 塗装の種類
5.2 8 耐震工改修工事
5.3 9 環境配慮改修工事
5.4 10 透水性アスファルト舗装改修工事
5.5 11 石綿含有度測定
5.6 12 石綿含有吹付け材の除去
5.7 13 石綿含有吹付け材の除去
5.8 14 石綿含有吹付け材の除去
5.9 15 石綿含有吹付け材の除去
5.10 16 石綿含有吹付け材の除去

6 PCB含有シーリング材処分
7 外断熱改修工事
8 断熱・防露改修工事
9 屋上緑化改修工事
10 透水性アスファルト舗装改修工事

	<p>11 舗装版切断時に発生する濁水の処理 (舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書)</p>	<p>濁水の処理 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 ・ 図示による 処理方法 ・ 中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず） ・ 中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入（処理に焼却含む） 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>共通事項 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業者の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業者の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。</p> <p>提出書類等 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。</p> <p>その他 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>	
<p>⑩ 鉄筋工事</p>		<p>特記仕様書（構造関係）による</p>	
<p>⑪ コンクリート工事</p>		<p>特記仕様書（構造関係）による</p>	
<p>⑫ その他</p>	<p>○注意事項</p>	<p>前述「公共建築工事標準仕様書」24.その他 を参照すること</p>	

■ 建築概要

地名地番	埼玉県比企郡川島町大字下八ツ林字徳町866番1,867番1,868番1,868番9		
敷地面積	2,239.26㎡	地区指定	指定なし
建築面積	610.34㎡ (許容:1,567.48㎡)	用途地域	指定なし (建ぺい率60%、容積率100%)
延床面積	1,071.17㎡ (許容:2,239.26㎡)	防火地域	指定なし
建ぺい率	27.54%	高度地区	なし 北側制限なし
容積率	47.95%	道路車線	立上り20m 勾配1.5/1
構造/階数	RC造、一部S造/ 地上2階、地下0階	隣地斜線	立上り20m 勾配1.25/1
高さ	8.4m (地盤高さ:園舎1FL-500)	日影規制	10m以上に適用(h=4m) 4h 2.5h
接道	北側:町道/2-17(法第42条第1項第1号道路) 幅員 車道7.5m + 歩道2.5m = 10.0m 南側:町道/4638(法第42条第1項第1号道路) 幅員 4.2m 東側:町道/4638(法第42条第1項第1号道路) 幅員 4.2m 西側:町道/1-8(法第42条第1項第1号道路) 幅員 車道8.0m + 歩道3.5m = 11.5m		
その他	建ぺい率の緩和:角地緩和+10% 12未満の前面道路幅員による容積率算定係数 0.4		

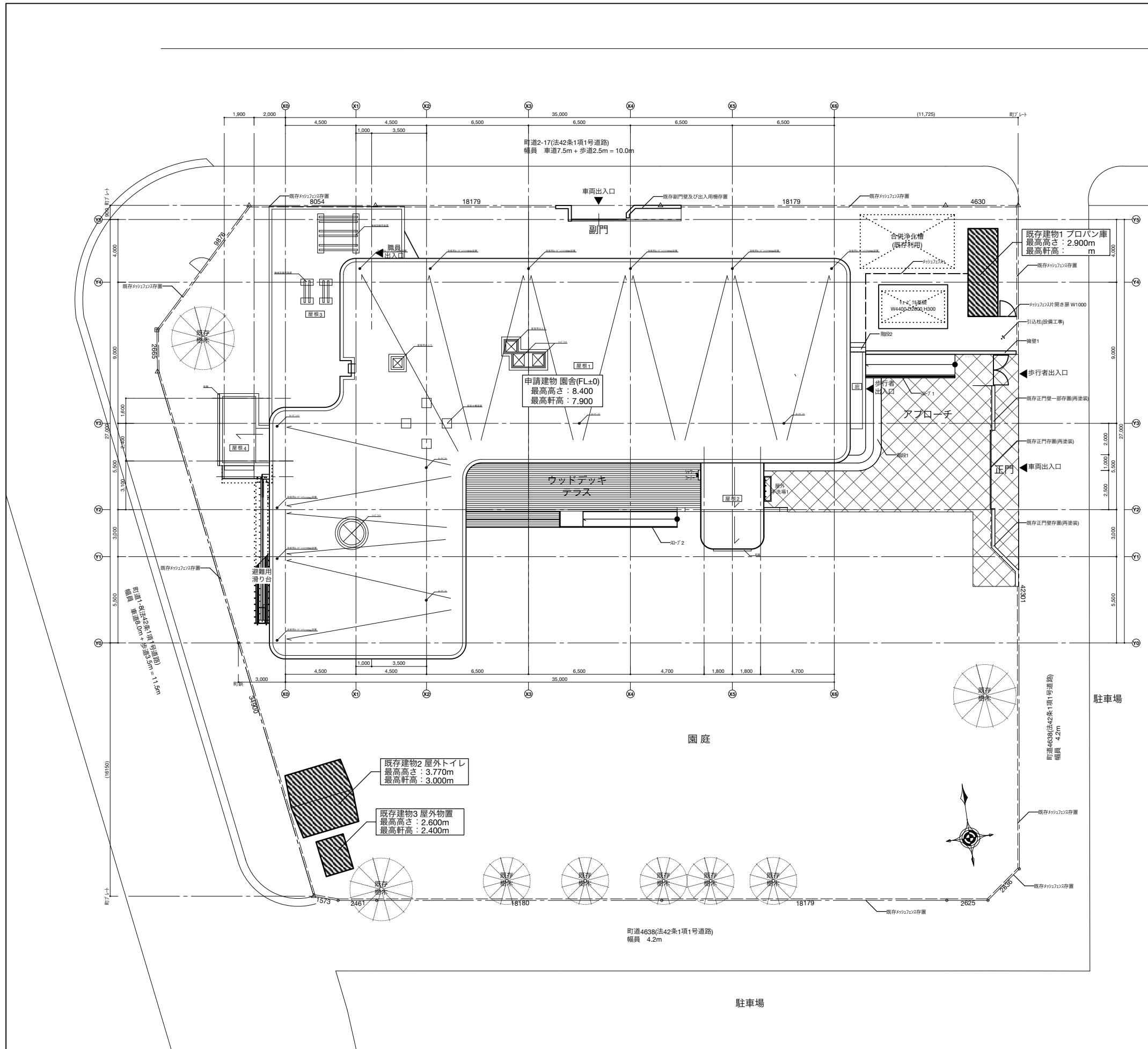
■ 延床面積

	申請建物1		既存建物		
	既存	増築後	既存建物1	既存建物2	既存建物3
	既存園舎	園舎	プロパン庫	屋外便所	屋外物置
2階	400.5㎡	512.10㎡	-	-	-
1階	434.4㎡	549.44㎡	9.63㎡	6.21㎡	3.96㎡
小計	834.90㎡	1,061.54㎡	9.63㎡	6.21㎡	3.96㎡
延床面積	834.90㎡				
容積率	29.35%				
備考	容積率は小数点以下第3位を切り上げ 新築時の敷地面積は2844.18㎡ EV昇降路7.6㎡				

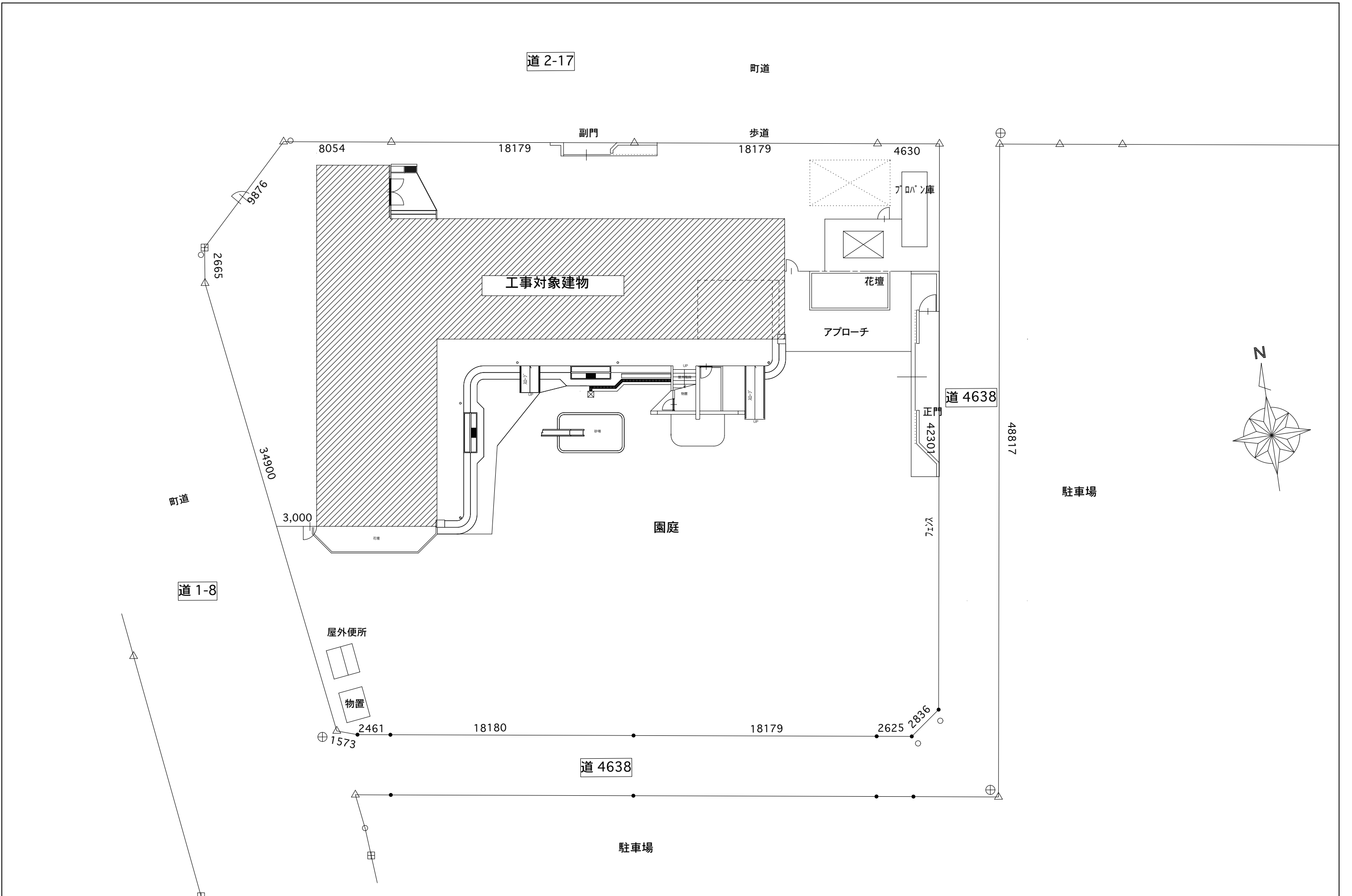
■ 建築面積

	申請建物1		既存建物		
	既存	増築後	既存建物1	既存建物2	既存建物3
	既存園舎	園舎	プロパン庫	屋外便所	屋外物置
小計	557.0㎡	592.79㎡	9.63㎡	6.21㎡	3.96㎡
建築面積	557.0㎡				
建蔽率	19.58%				
備考	容積率、建ぺい率は小数点以下第3位を切り上げ 新築時の敷地面積は2844.18㎡				

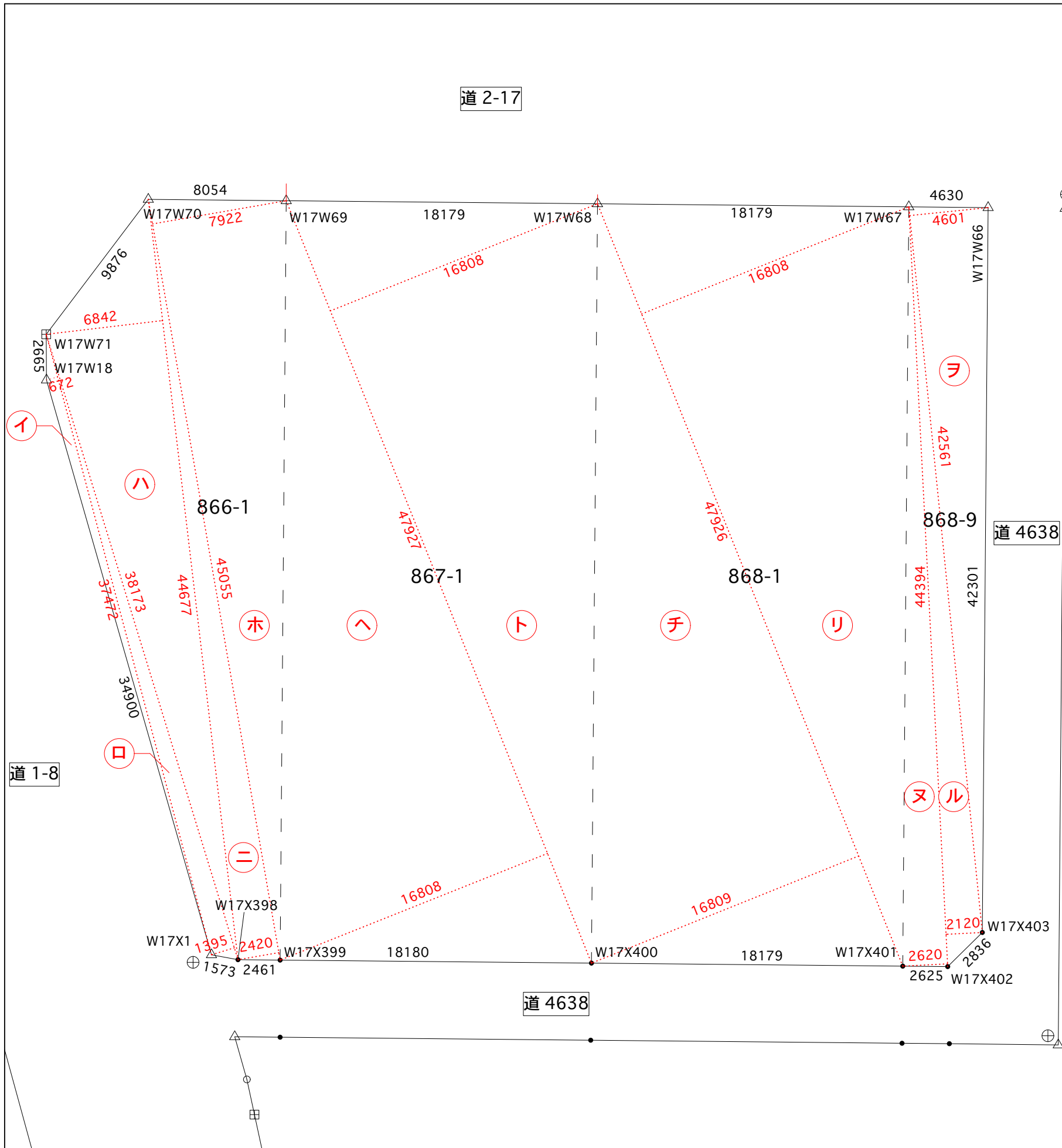
■ 案内図 1:20000(A3)



<p><凡例></p> <p>田 町コンクリート杭</p> <p>△ 町プレート</p> <p>⊕ 町紙</p>	<p>敷地の地盤高さは園舎1FL-500</p> <p>道路斜線制限は明らかに適合している</p>	<p>株式会社 桂設計 埼玉事務所</p> <p>KATSURA SEKKEI INC.</p> <p>KATSURA-級建築士登録 第301170号 白須 若菜</p>	<p>工事名 川島町公立保育園統合整備工事</p> <p>図面名 計画概要・案内図・配置図</p>	<p>業務番号 000000</p> <p>計画 製作 調査 調査</p> <p>縮尺 A1: 125 A3: 250</p> <p>2026/03/13</p> <p>図面番号 A-11</p>
--	---	---	---	--



<p><凡例></p> <p>田 町コンクリート杭</p> <p>△ 町プレート</p> <p>⊕ 町紙</p>		<p>株式会社 桂設計 埼玉事務所 KATSURA SEKKEI INC. KATSURA-級建築士登録 第301170号 白須 若菜</p>		<p>工事名 川島町公立保育園統合整備工事</p> <p>図面名 現況図</p>		<p>業務番号 000000</p> <p>計画 製作 調査 調査</p> <p>2026/ 03/ 13</p>		<p>縮尺 A1: 125 A3: 250</p> <p>図面番号 A- 12</p>	
--	--	---	--	--	--	---	--	---	--



境界座標一覧表

測定点	X座標	Y座標
W17W66	-719.827	-31539.225
W17W67	-719.782	-31543.855
W17W68	-719.603	-31562.034
W17W69	-719.425	-31580.213
W17W70	-719.346	-31588.267
W17W71	-727.221	-31594.227
W17W18	-729.886	-31594.213
W17X1	-763.430	-31584.577
W17X398	-763.715	-31583.030
W17X399	-763.739	-31580.569
W17X400	-763.915	-31562.389
W17X401	-764.092	-31544.210
W17X402	-764.118	-31541.585
W17X403	-762.127	-331539.564

三斜求積表

地番	符号	底辺(m)	高さ(m)	倍面積 (㎡)	地積
866-1	イ	37.472	0.672	25.181184	
	ロ	38.173	1.395	53.251335	
	ハ	44.677	6.842	305.680034	
	ニ	45.055	2.420	109.0331	
	ホ	45.055	7.922	356.92571	425.03㎡
867-1	ヘ	47.927	16.808	805.557016	
	ト	47.927	16.808	805.557016	805.55㎡
868-1	チ	47.926	16.809	805.588134	
	リ	47.926	16.808	805.540208	805.56㎡
868-9	ヌ	44.394	2.620	116.311228	
	ル	44.394	2.120	94.11528	
	ヲ	42.561	4.601	195.823161	203.12㎡
				425.03 + 805.55 + 805.56 + 203.12	= 2239.26㎡
面積					2239.26㎡

<凡例>
 □ 町コンクリート杭
 △ 町プレート
 ⊕ 町紙

株式会社 桂設計 埼玉事務所 KATSURA SEKKEI INC. KATSURA-級建築士登録 第301170号 白須 若菜	工事名 川島町公立保育園統合整備工事		業務番号 000000
	図面名 敷地面積求積図	縮尺 A1: 125 A3: 250	計画 製作 調査 調査 2026/03/13

■既存部

㉑ 既存園舎1階床面積

記号	計算式(m)	面積(m ²)
①	9,000 × 23,000	207,000
②	5,500 × 4,000	22,000
③	19,500 × 9,000	175,500
④	6,500 × 4,600	29,900
合計面積		434,400

㉒ 既存園舎建築面積加算部

記号	計算式(m)	面積(m ²)
⑤	1,500 × 12,500	18,750
⑥	26,000 × 1,500	39,000
⑦	3,000 × 6,000	18,000
⑧	28,500 × 0,500	14,250
⑨	1,000 × 4,000	4,000
⑩	6,500 × 4,400	28,600
合計面積		122,600

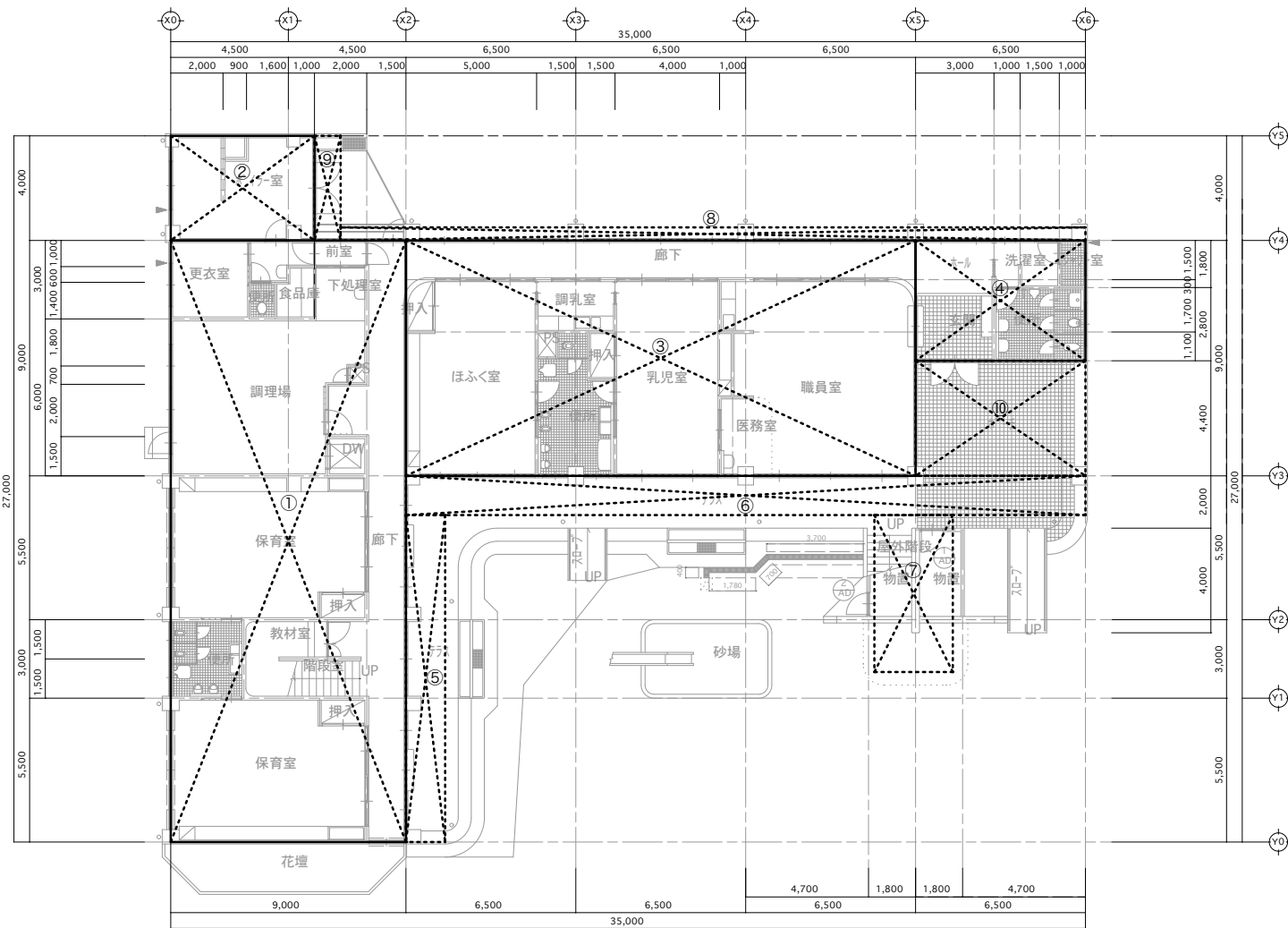
㉓ 既存園舎2階床面積

記号	計算式(m)	面積(m ²)
③		175,500
④		29,900
⑩		28,600
⑪	9,000 × 14,000	126,000
⑫	4,500 × 9,000	40,500
合計面積		400,500

■既存園舎		■増築部分	
㉑ 1階床面積	434.4m ²	㉓ 1階床面積	115.04m ²
㉒ 2階床面積	400.5m ²	㉔ 2階床面積	111.60m ²
㉕ 延床面積	834.9m ²	㉗ 延床面積	226.64m ²
㉖ 建築面積	557.0m ²	㉘ 建築面積 (増築後追加部分)	39.71m ²
■申請建物1 (合計)			
㉙ 1階床面積	549.44m ²		
㉚ 2階床面積	512.10m ²		
㉛ 延床面積	1061.54m ²		
㉜ 建築面積	596.71m ²		

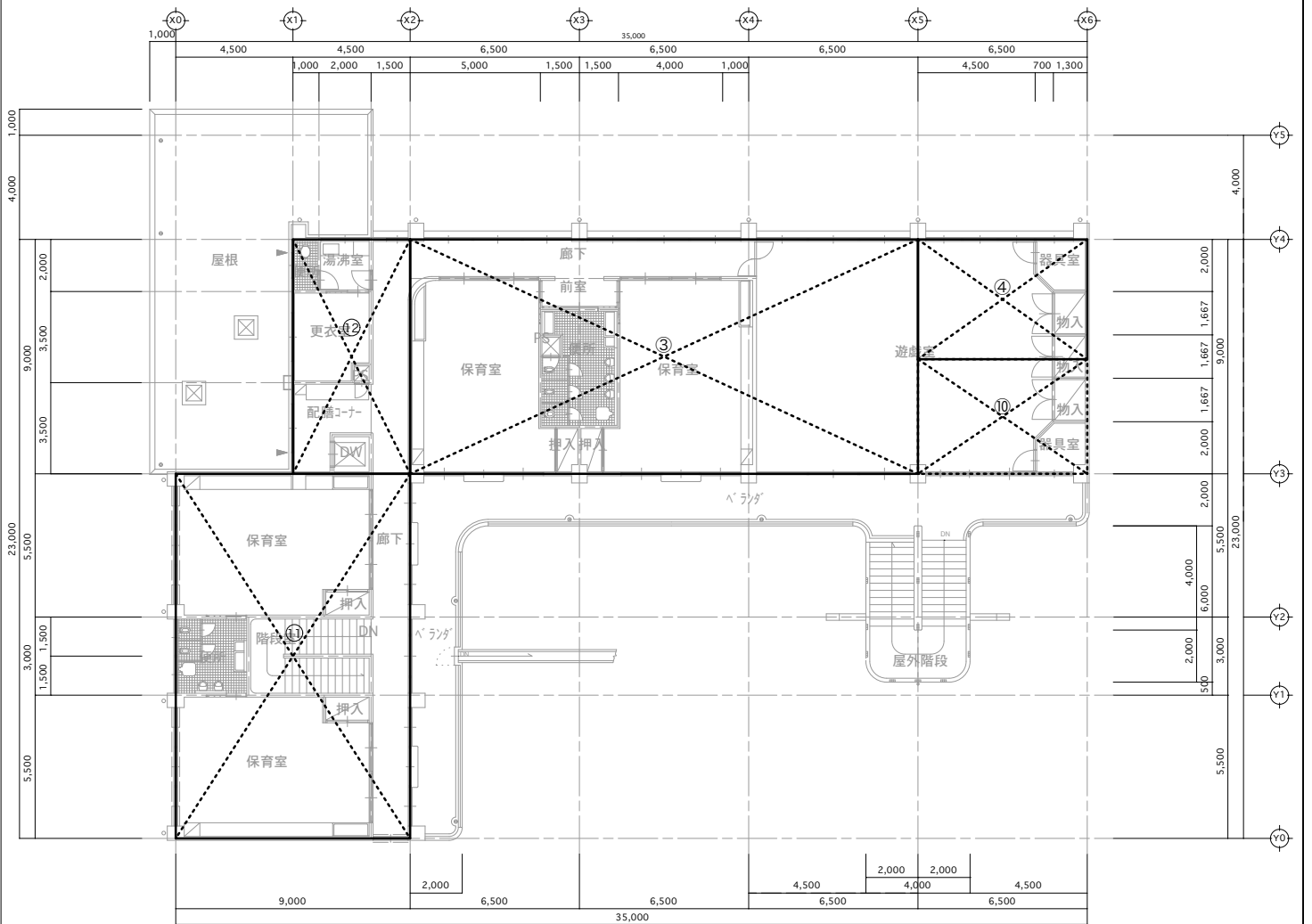
	■延床面積					■建築面積					
	既存		既存			既存		既存			
	申請建物1	増築	既存建物1	既存建物2	既存建物3	申請建物1	増築	既存建物1	既存建物2	既存建物3	
2階	400.5m ²	111.60m ²	-	-	-	小計(棟)	557.0m ²	35.79m ²	9.63m ²	6.21m ²	3.96m ²
1階	434.4m ²	115.04m ²	9.63m ²	6.21m ²	3.96m ²	小計(建物)	592.79m ²	9.63m ²	6.21m ²	3.96m ²	
小計(棟)	834.9m ²	226.64m ²	9.63m ²	6.21m ²	3.96m ²	建築面積	612.59m ²				
小計(建物)	1,061.54m ²	9.63m ²	6.21m ²	3.96m ²		建蔽率	612.59/2239.26=0.27356 ≈ 27.36%				
延床面積	1,081.34m ²					備考	容積率、建ぺい率は小数点以下第3位を切り上げ				
容積率	1,081.34-7.6(EV昇降路)=1,073.74						1,073.74/2,239.26=0.47950 ≈ 47.95%				

※ ㉑-㉒は「A-000 延床・建築面積求積図-2」を参照のこと。



▶ 耐震スリット箇所を示す

㉑ 既存園舎1階床面積
㉒ 既存園舎建築面積加算部



▶ 耐震スリット箇所を示す

㉓ 既存園舎2階床面積

■増築部

㉑ 1階増築部床面積

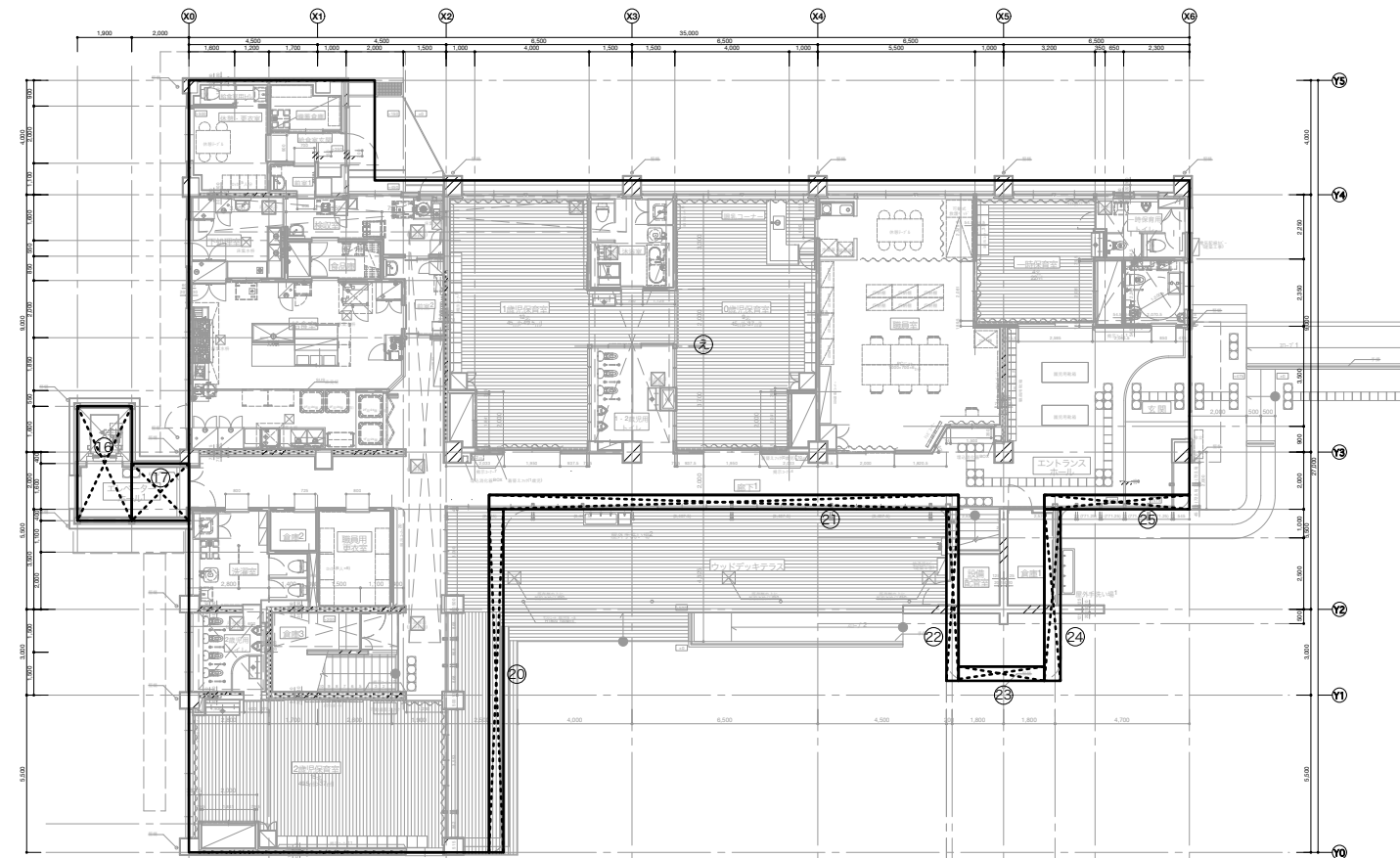
記号	計算式(m)	面積(m ²)
㉑	25.420 × 2.000	50.840
㉒	4.000 × 6.000	24.000
㉓	6.500 × 4.400	28.600
㉔	1.900 × 4.000	7.600
㉕	2.000 × 2.000	4.000
合計面積		115.04

㉒ 2階増築部床面積

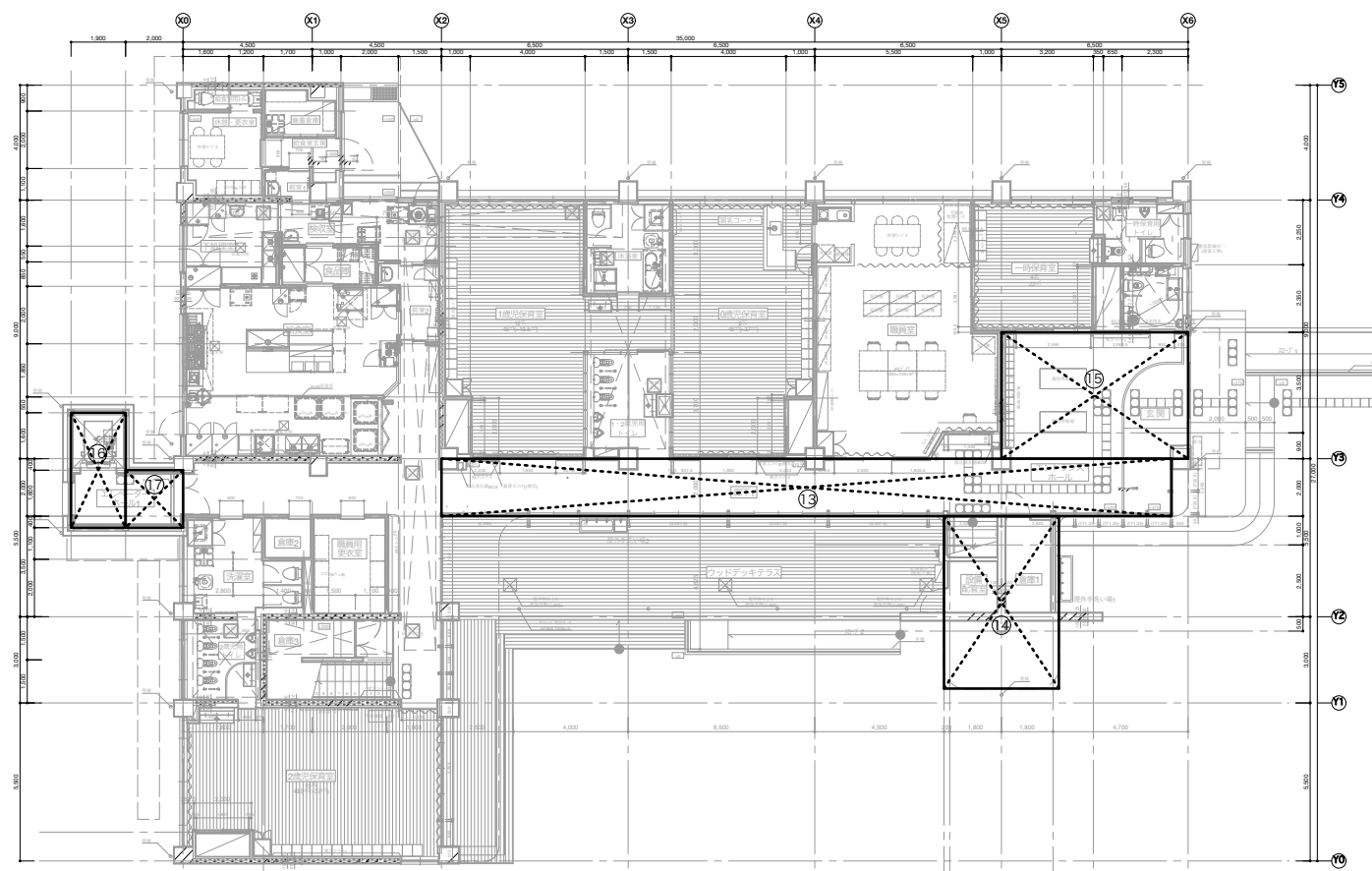
記号	計算式(m)	面積(m ²)
㉒		24.000
㉓		7.600
㉔		4.000
㉕	26.000 × 2.000	52.000
㉖	2.000 × 12.000	24.000
合計面積		111.60

㉗ 増築による建築面積加算部

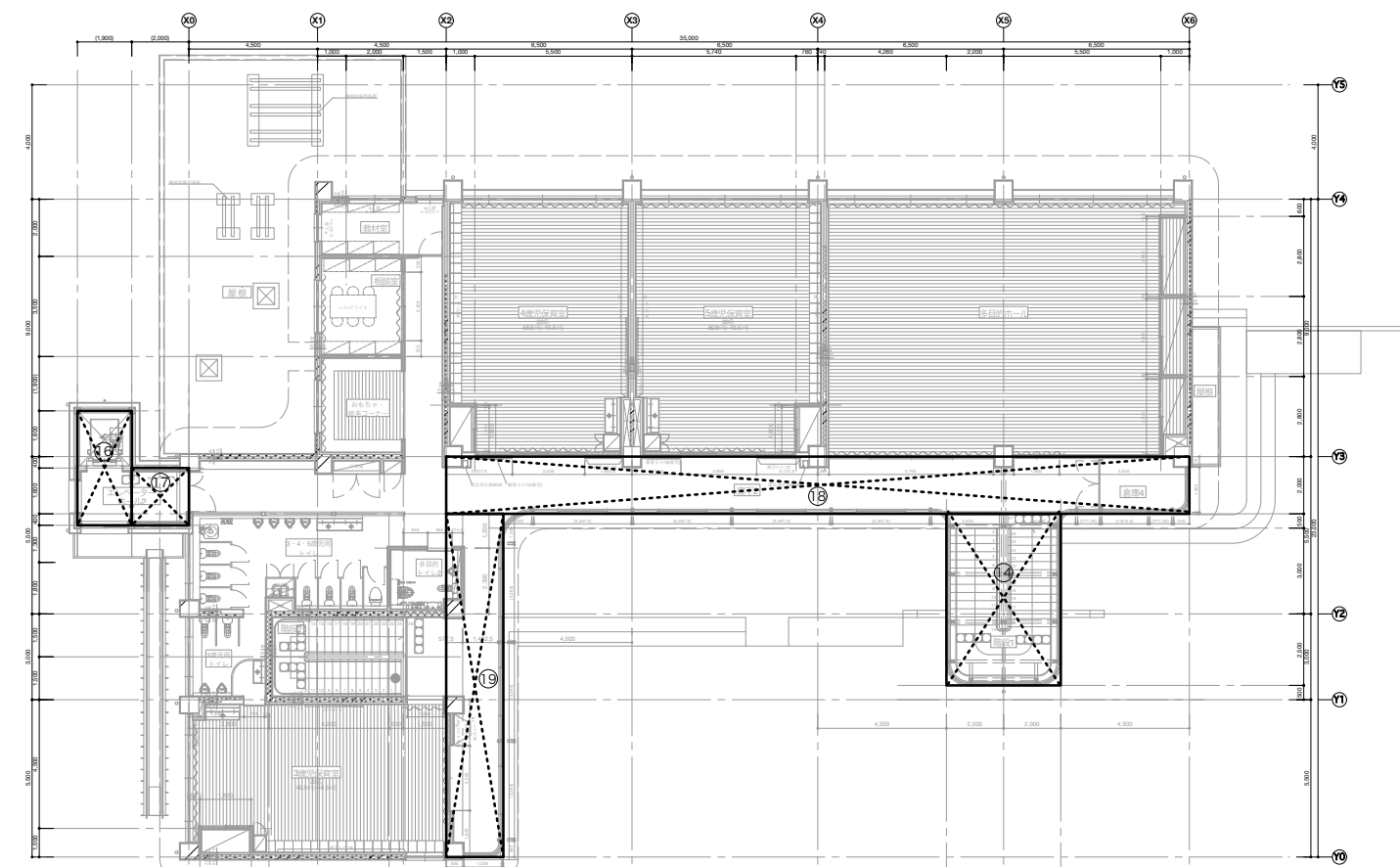
記号	計算式(m)	面積(m ²)
㉗		7.600
㉘		4.000
㉙	0.500 × 12.000 = 6.000	6.000
㉚	16.425 × 0.500 = 8.212	8.212
㉛	0.425 × 6.000 = 2.550	2.550
㉜	3.000 × 0.500 = 1.500	1.500
㉝	0.565 × 6.000 = 3.390	3.390
㉞	5.075 × 0.500 = 2.537	2.537
合計面積		35.79



㉗ 増築による建築面積加算部



㉑ 1階増築部床面積



㉒ 2階増築部床面積

■共用部面積表

玄関・エントランスホール

記号	計算式(m)	面積(m ²)
a	6.500 × 4.400	28.600
b	5.920 × 2.000	11.840
合計面積		40.44

廊下1

記号	計算式(m)	面積(m ²)
c	2.000 × 900	1.800
d	520 × 900 × 1/2	0.234
e	28.500 × 2.000	57.000
f	1.900 × 3.500	6.650
g	1.500 × 3.000	4.500
合計面積		70.18

エレベーターホール1

記号	計算式(m)	面積(m ²)
h	3.900 × 2.000	7.800
i	1.900 × 2.000	3.800
合計面積		11.60

階段1 (倉庫1、倉庫5含む)

記号	計算式(m)	面積(m ²)
j	3.880 × 6.020	23.358
合計面積		23.35

階段2 (倉庫3含む)

記号	計算式(m)	面積(m ²)
k	4.700 × 3.000	14.100
合計面積		14.10

倉庫4

記号	計算式(m)	面積(m ²)
l	3.103 × 2.000	6.207
合計面積		6.20

廊下2

記号	計算式(m)	面積(m ²)
m	31.896 × 2.000	63.793
n	1.500 × 7.000	10.500
o	2.077 × 1.200	2.493
p	1.342 × 12.000	16.110
q	2.077 × 3.000	6.232
r	0.577 × 5.500	3.176
合計面積		102.30

エレベーターホール2

記号	計算式(m)	面積(m ²)
s	3.900 × 2.000	7.800
t	1.900 × 2.000	3.800
合計面積		11.60

階段1 (2階)

記号	計算式(m)	面積(m ²)
u	3.880 × 6.020	23.358
合計面積		23.35

階段2 (2階)

記号	計算式(m)	面積(m ²)
v	4.700 × 3.000	14.100
合計面積		14.10

■各室面積表

多目的トイレ1

記号	計算式(m)	面積(m ²)
1	2.300 × 2.350	5.405
合計面積		5.40

一時保育用トイレ

記号	計算式(m)	面積(m ²)
2	2.945 × 2.250	6.626
3	0.355 × 1.250	0.443
合計面積		7.069

一時保育室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
4	4.200 × 4.600	19.320
5	1.000 × 2.350	2.350
52	0.355 × 1.000	0.355
合計面積		22.02

機械室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
6	5.500 × 4.600	25.300
7	6.500 × 3.500	22.750
8	3.980 × 0.900	3.582
9	0.520 × 0.900 × 1/2	0.234
合計面積		51.86

0歳児保育室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
10	5.000 × 9.000	45.000
合計面積		45.00

1歳児保育室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
11	3.000 × 2.000	6.000
12	5.000 × 9.000	45.000
合計面積		51.00

木浴室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
13	3.000 × 3.300	9.900
合計面積		9.90

1・2歳児用トイレ

記号	計算式(m)	面積(m ²)
14	3.000 × 3.700	11.100
合計面積		11.10

図書倉庫

記号	計算式(m)	面積(m ²)
15	2.700 × 1.800	4.860
合計面積		4.86

給食室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
16	2.700 × 1.100	2.970
17	1.027 × 1.100	1.130
合計面積		4.10

前室1

記号	計算式(m)	面積(m ²)
18	1.672 × 1.100	1.840
合計面積		1.84

給食室トイレ

記号	計算式(m)	面積(m ²)
19	1.600 × 0.900	1.440
合計面積		1.44

休憩・更衣室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
20	2.800 × 3.100	8.680
51	1.200 × 0.900	1.080
合計面積		9.76

換気室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
21	5.600 × 1.600	8.960
22	2.250 × 0.550	1.237
合計面積		10.19

前室2

記号	計算式(m)	面積(m ²)
23	2.250 × 0.850	1.912
24	1.500 × 2.000	3.000
合計面積		4.91

下処理室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
25	3.400 × 3.000	10.200
合計面積		10.20

食品庫

記号	計算式(m)	面積(m ²)
26	3.350 × 1.400	4.690
合計面積		4.69

給食室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
27	6.975 × 3.850	26.854
28	0.525 × 3.325	1.746
29	0.525 × 0.525 × 1/2	0.138
30	6.368 × 2.150	13.691
合計面積		42.42

食育コーナー (廊下)

記号	計算式(m)	面積(m ²)
31	0.525 × 0.525 × 1/2	0.138
32	1.500 × 1.850	2.775
33	2.632 × 2.150	5.659
合計面積		8.572

職員用更衣室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
34	2.600 × 3.500	9.100
合計面積		9.10

倉庫2

記号	計算式(m)	面積(m ²)
35	1.700 × 1.700	2.890
合計面積		2.89

洗濯室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
36	2.800 × 3.500	9.800
37	1.700 × 1.800	3.060
合計面積		12.86

2歳児用トイレ

記号	計算式(m)	面積(m ²)
38	2.800 × 3.000	8.400
合計面積		8.40

2歳児保育室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
39	9.000 × 5.500	49.500
合計面積		49.50

■2階各室面積表

多目的ホール

記号	計算式(m)	面積(m ²)
40	12.760 × 9.000	114.840
合計面積		114.84

5歳児保育室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
41	6.740 × 9.000	60.660
合計面積		60.66

4歳児保育室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
42	6.500 × 9.000	58.500
合計面積		58.50

教材室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
43	4.500 × 2.000	9.000
合計面積		9.000

相談室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
44	3.000 × 3.500	10.500
合計面積		10.50

おもちゃ・絵本コーナー

記号	計算式(m)	面積(m ²)
45	3.000 × 3.500	10.500
合計面積		10.50

3・4・5歳児用トイレ

記号	計算式(m)	面積(m ²)
46	7.000 × 3.500	24.500
47	0.500 × 1.200	0.600
合計面積		25.10

多目的トイレ2

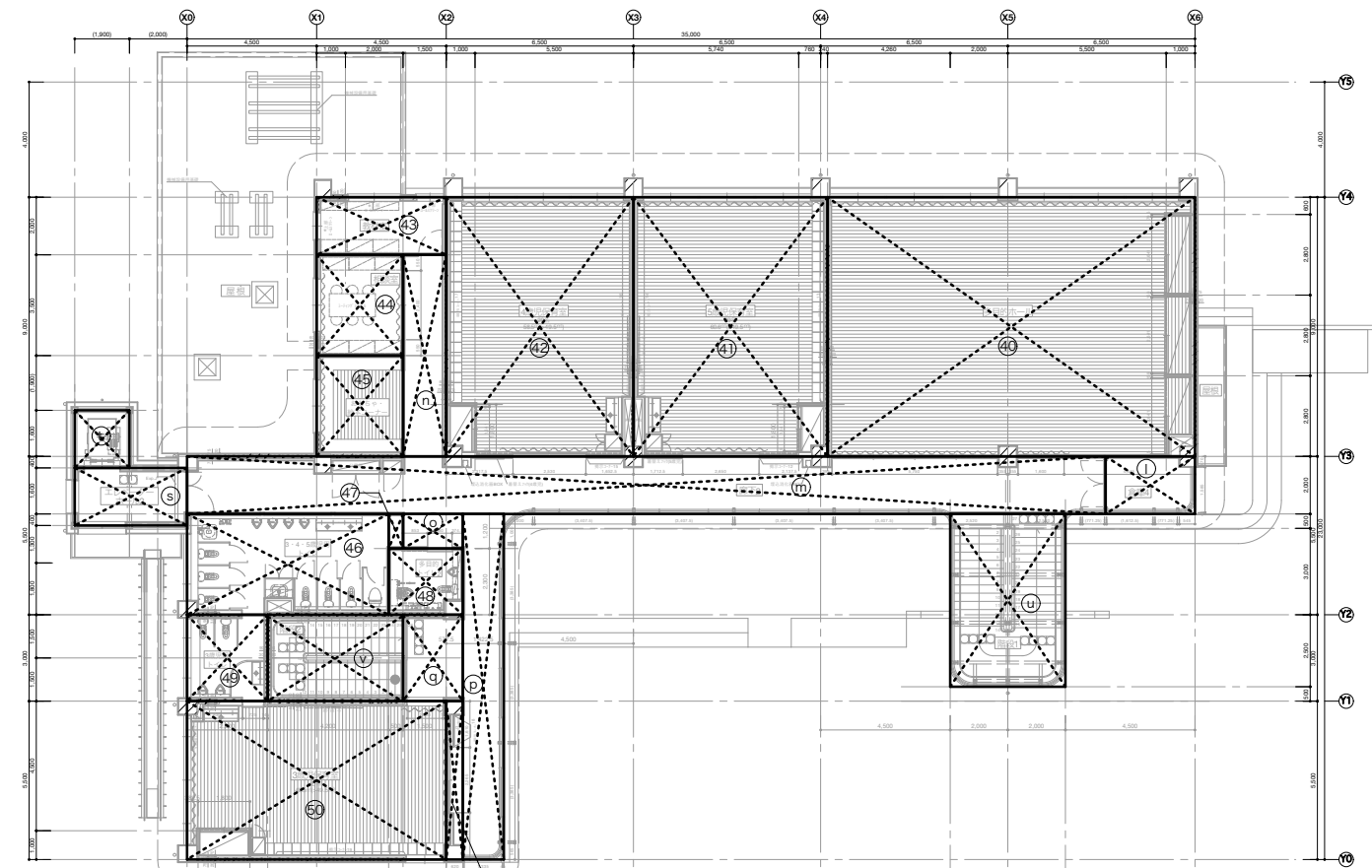
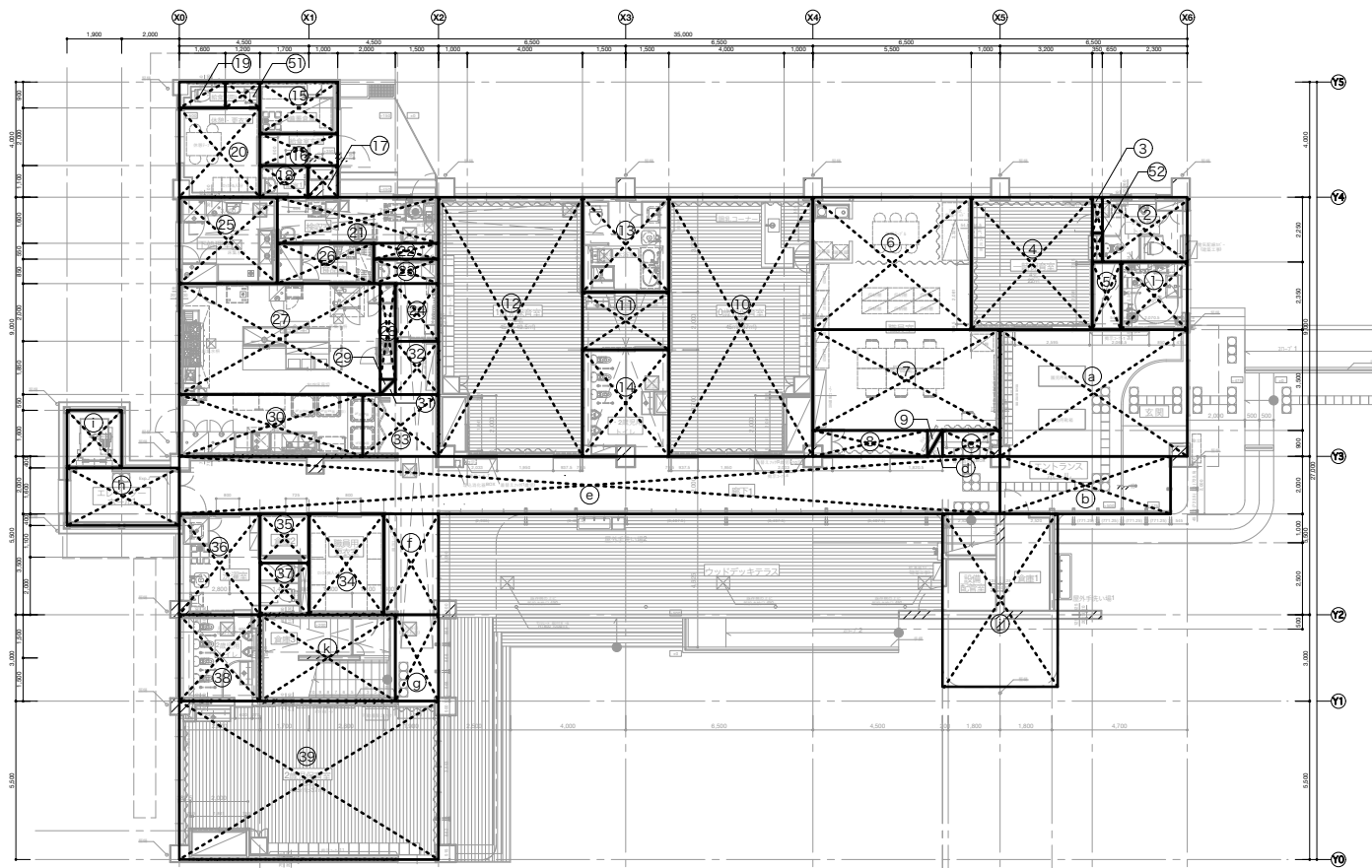
記号	計算式(m)	面積(m ²)
48	2.577 × 2.300	5.928
合計面積		5.928

3歳児用トイレ


記号	計算式(m)	面積(m ²)
49	2.800 × 3.000	8.400
合計面積		8.400

3歳児保育室

記号	計算式(m)	面積(m ²)
50	9.000 × 5.500	49.500
合計面積		49.50



共通事項		認定番号		凡 例			
断 熱	・ 炬計図参照 ・ 建具まわりなどの断熱材補修部分は、断熱材張付け又は現場発泡断熱材等を使用する ・ 特記なき限り、断熱材は、F☆☆☆☆・ノンフロンのものである	外 壁 装 装	・ リン仕仕上げの外壁及び軒天等の下地処理、塗装は、以下の順序で行うものとする ①脆弱塗膜除去：既存塗膜のうち脆弱塗膜除去後、露出された下地コンクリート、モルタルの不良箇所の処理を行う ②除去・清掃：高圧水洗機（10～15MPa） ③クラック調査（クラック位置・深さは図面化し、監督員に提出する） ④クラック補修 ⑤段差・不陸の調整が必要な場合：既存塗膜の除去による段差（3～10mm程度）の著しいものは、下地調整塗材C-2にて段差修正し、合成樹脂エマルジョンペイントを塗布する ⑥再塗装：可とう形改修塗材Eで全面再塗装する	不燃	共 通	壁 下 地	塗 装
				石膏ボード t=12.5 NM-8619 岩綿吸音板 t=9.0 NM-8599 化粧石膏ボード t=9.5 NM-1864 不燃シタ合板 t=5.5 NM-1308 硬質石膏ボード t=9.5 NM-9645 強化石膏ボード t=12.5 NM-8615 強化石膏ボード t=21.0 NM-8615 ガラス繊維不織布入石膏板 t=5.0,8.0 NM-2286 ガラス繊維不織布入石膏板 t=12.5 NM-9354 準不燃 石膏ボード t=9.5	CON 鉄筋コンクリート CB コンクリートブロック LGS 軽量鉄骨壁下地・軽量鉄骨天井下地 GL 石膏ボードRC直張り工法（GL工法同等品） PB 石膏ボード 硬質PB 超硬質高強度石膏ボード 強化PB 強化石膏ボード 有孔PB 吸音用穴あき石膏ボード 耐水PB 耐水石膏ボード 珪カル板 無石綿けい酸カルシウム板（0.8FK） GW グラスウール吸音ボード2号 SUS ステンレス鋼（特記なき限りSUS304） St スチール鋼 HL ヘアライン仕上げ（SUS） VHL バイブレーションヘアライン仕上げ（SUS） J P ジェットパーナーポリッシュ仕上げ（石） ←(塗装仕上) 下地欄の内容で仕上としている意味を表す RB 岩綿吸音板（色付）	R C 下 地 W-1 コンクリート打放し素地（不燃下地） E P 水性エマルジョンペイント W-2 コンクリート化粧打放し（不燃下地） E P-G 艶あり水性エマルジョンペイント W-3 コンクリート打放し補修（不燃下地） U P セラミフレッシュ1N同等品 W-4 GL+PB9.5（準不燃下地） S O P 合成樹脂調合ペイント W-5 GL+PB12.5（不燃下地） U C 水性ウレタンワニスペイント（A種） W-6 GL+耐水PB9.5（準不燃下地） U P ポリウレタン塗料 3回塗 W-7 GL+耐水PB12.5（準不燃下地） O P 合成樹脂調合塗料 3回塗 W-8 GL+不燃積層PB9.5+PB12.5（不燃下地） A E P アクリル系合成樹脂エマルジョン塗料 3回塗 W-9 GL+PB9.5+硬質PB9.5（準不燃下地） 2 U E 2液ポリウレタンエナメルペイント W-10 GL+PB12.5+硬質PB9.5（不燃下地） D P 塗装A種 2液性常温フッ素樹脂エナメルペイント W-11 LGS+PB9.5（準不燃下地） O S C L オイルステインクリアラッカー（水性） W-12 LGS+PB12.5（不燃下地） O . S . V オイルステインワニス W-13 LGS+耐水PB9.5（準不燃下地） V P ビニルエマルジョンペイント W-14 LGS+耐水PB12.5（準不燃下地） W P 木材保護塗料塗り W-15 LGS+PB9.5+PB12.5（不燃下地） オスカラーフローアーカー同等品以上 W-16 LGS+PB12.5+PB12.5（不燃下地） 床 下 地 W-17 LGS+PB12.5+硬質PB9.5（片面貼）（不燃下地） F-1 コンクリート金ゴテ W-18 LGS+強化PB12.5+硬質PB9.5（両面貼り：1時間耐火壁）（不燃下地） F-2 コンクリート木ゴテ W-18A LGS+強化PB12.5+硬質PB9.5 グラスウール24kg/m3 t50充填 （両面貼り：1時間耐火壁）（不燃下地） F-3 モルタル金ゴテ W-18B LGS65@303千鳥+両面強化セッコウボード t12.5+GW24kg/mi t50 +硬質セッコウボード t9.5(吉野石膏/PA-カルZ-W1同等品以上) （両面貼り：1時間耐火壁）（不燃下地） F-4 鋼製床組 W-19 LGS+強化PB21.0+強化PB21.0 （片面貼り：1時間耐火壁）（不燃下地） F-5 O A フローア W-20 LGS+ガラス繊維不織布入セッコウ板5.0+5.0 W-21 LGS+強化PB12.5+ガラス繊維不織布入セッコウ板8.0 （両面貼り：1時間耐火壁）（不燃下地） F-6 木組下地 S-1 セルフレベリング（セメント系）	
外 部	・ 外部に面する金物の周囲は全てシーリングを行う ・ 止水ラインとなるアルミパネル、笠木等の目地、ジョイント部は全て2重シーリングとする （天端については受け種・外部排水機部とする） ・ 地中となる外周部躯体の型枠締付金物の頭処理は、ねじ頭切断後、防錆塗料の上防水モルタルを充填する ・ 異種取合い部は、特記なき限りシーリングを行う ・ 特記なき限り、外部コンクリートの打ち継ぎ目地及び誘発目地には全てシーリング10を施す ・ 特記なき限り、仕上塗材のコンクリート面の補修は全面補修とする ・ 特記なき限り、外部金物は溶融亜鉛メッキ処理の上、SOPとする	外 構 造 装 装	・ 吹付タイル仕上げの門袖壁についても上記外壁塗装と同様の順序で行うものとする ・ 下地処理、塗装を行う ・ (パターン補修は不要)	石膏ボード t=9.5 吸音用有孔石膏ボード t=9.5 QM-9827	GW グラスウール吸音ボード2号 SUS ステンレス鋼（特記なき限りSUS304） St スチール鋼 HL ヘアライン仕上げ（SUS） VHL バイブレーションヘアライン仕上げ（SUS） J P ジェットパーナーポリッシュ仕上げ（石） ←(塗装仕上) 下地欄の内容で仕上としている意味を表す RB 岩綿吸音板（色付）	L G S 下 地 W-11 LGS+PB9.5（準不燃下地） O S C L オイルステインクリアラッカー（水性） W-12 LGS+PB12.5（不燃下地） O . S . V オイルステインワニス W-13 LGS+耐水PB9.5（準不燃下地） V P ビニルエマルジョンペイント W-14 LGS+耐水PB12.5（準不燃下地） W P 木材保護塗料塗り W-15 LGS+PB9.5+PB12.5（不燃下地） オスカラーフローアーカー同等品以上 W-16 LGS+PB12.5+PB12.5（不燃下地） 床 下 地 W-17 LGS+PB12.5+硬質PB9.5（片面貼）（不燃下地） F-1 コンクリート金ゴテ W-18 LGS+強化PB12.5+硬質PB9.5（両面貼り：1時間耐火壁）（不燃下地） F-2 コンクリート木ゴテ W-18A LGS+強化PB12.5+硬質PB9.5 グラスウール24kg/m3 t50充填 （両面貼り：1時間耐火壁）（不燃下地） F-3 モルタル金ゴテ W-18B LGS65@303千鳥+両面強化セッコウボード t12.5+GW24kg/mi t50 +硬質セッコウボード t9.5(吉野石膏/PA-カルZ-W1同等品以上) （両面貼り：1時間耐火壁）（不燃下地） F-4 鋼製床組 W-19 LGS+強化PB21.0+強化PB21.0 （片面貼り：1時間耐火壁）（不燃下地） F-5 O A フローア W-20 LGS+ガラス繊維不織布入セッコウ板5.0+5.0 W-21 LGS+強化PB12.5+ガラス繊維不織布入セッコウ板8.0 （両面貼り：1時間耐火壁）（不燃下地） F-6 木組下地 S-1 セルフレベリング（セメント系）	
				・ 間仕切り壁となるLGSのスタッドは上下鉄骨・スラブに固定する ・ GWガラスクロス押えは、痛びにて腐敗押えとする ・ 壁の下地が異なる部分には、見切り（痛び、ハット目地等）を設ける ・ 間仕切りボードは、特記なき限り上部躯体に連するものとする ・ 但し、仕上の為の増し貼りは天井までとする ・ 塗装仕上の天井PBは、全面寒冷紗張りの上パテしごきとする ・ GWを充填する場合の穴あき合板又はPBには、寒冷紗（塵）を裏貼りとする ・ PBの出隅コーナーは全て増し製コーナーにて下地補強を行う ・ EP仕上のPB継目は、ハット目地工法とする ・ カーテン、カーペット、掲示板等は、難燃以上の加工品とする ・ 仕上塗材、塗装等は基材同等認定品とする ・ 塗床を立上げて中木とする場合は、目地別れとする ・ 特記なき限り、1階スラブ下に防護シート t0.15を設置する ・ ヒートブリッジとなる屋根スラブ等の吹き返しは300mm以上とする ・ 特記なき限り、内部鉄部はSOP塗装（F☆☆☆☆）とする ・ 特記なき限り、廊下・共用部の柱及び壁の出隅は面取処理を行う ・ 特記なき限り、下がり壁の仕上げは壁と同材とする ・ 特記なき限り、塗装仕上げのコンクリート面の補修は全面補修とする ・ 手摺、衛生陶器等の取付け面は適当な補強材を入れる ・ ビクチャレールはフック(2個/m)を本工事とする ・ 建築物の基礎、主要構造部その他安全上、防火上又は衛生上重要である政令で定める部分に使用する建築材料の品質は、国土交通大臣の指定する日本工業規格又は日本規格協会に適合するものとする ・ 建築基準法第28条の2に基づき、建材および天井内はF☆☆☆☆（規制対象外建築材料）を使用する	・ フラット塗装、モルタル薄塗仕上げの基礎部の下地処理、塗装は以下の順序で行うものとする ①脆弱塗膜除去：既存塗膜のうち脆弱塗膜除去後、露出された下地コンクリート、モルタルの不良箇所の処理を行う ②除去・清掃：高圧水洗機（10～15MPa） ③クラック調査（クラック位置・深さは図面化し、監督員に提出する） ④クラック補修 ⑤段差・不陸の調整が必要な場合：既存塗膜の除去による段差（3～10mm程度）の著しいものは、下地調整塗材C-2にて段差修正する ⑥再塗装：合成樹脂エマルジョンペイントで全面再塗装する	・ 記載メーカー品番は、参考であり同等品以上とする	

外部仕上表		既存仕上げ ※H19年に耐震補強工事実施		改修工法	改修後仕上げ・新設部仕上げ	備考
屋上・屋根【既存】	屋根1(2F屋根) 屋根2(階段屋根) 屋根3(給食室)	露出シート防水シルバー仕上 アスファルトシングル葺 露出シート防水シルバー仕上	※H19改修 アルミ枠網入透明硝子 t=6.8	高圧洗浄、ルーフトレイン撤去新設 撤去新設 高圧洗浄、ルーフトレイン撤去新設	既存の上からシート防水 ルーフドレイン100φ 耐火断熱（硬質ウレタンフォーム）パネル + シート防水 既存の上からシート防水 ルーフドレイン100φ 耐火断熱（硬質ウレタンフォーム）パネル + シート防水	鉄骨下地
屋根【増築】	屋根4(EVホール)					
バルコニー【新設】	増築部2Fバルコニー					
庇【新設】	アプローチ					
外壁【既存】	壁・柱・梁、バラベットの デザイン外壁 階段手摺壁、階段耐震壁 階段下外壁	コンクリート打放し リシン吹付※2 コンクリート打放し リシン吹付※2 コンクリート打放し リシン吹付※2		既存残し、高圧洗浄 既存残し、高圧洗浄 既存残し、高圧洗浄 既存残し、高圧洗浄	既存残し、高圧洗浄 既存残し、高圧洗浄 既存残し、高圧洗浄 既存残し、高圧洗浄	
外壁【増築】	壁（EVホール）		押出成形セメント板 t=15.0張り	既存残し、高圧洗浄	ALC板 t=100 縦張 コーナー部：コーナーパネル 防水複層塗材E/ゆず肌 ローラー仕上げ（基礎部も同仕上げ） 既存仕上げの上再塗装（共通事項「基礎部塗装」参照）	現場発泡防火被覆躯体に充填
基礎部【既存】	基礎中木、階段耐震壁中木	モルタル金ゴテ押え		既存のまま、高圧洗浄		
軒裏【既存】		コンクリート打放し リシン吹付※2 一部打放しパールスキン t=4.0 吹付		既存残し	既存仕上げの上再塗装（共通事項「外壁塗装」参照）	
軒裏【増築】	2F廊下外				下地LGS + ケイカルt=9.0 + EP塗装 外壁部分：強化PB + ALC板t100	
手摺【既存】		スロープ手摺：ステンレス ベランダ手摺：耐候性鋼 階段手摺：ステンレスパイプSUS304（ヘアライン仕上げ）		撤去		
手摺【増築】	非常用滑り台用バルコニー アプローチ/ウッドデッキのスロープ				FB 9x38 DP塗装 シート防水新設の上 既存際取付け	
バルコニー【既存】	屋根1、3	アルミ製		取外し	シート防水新設の上 既存際取付け コーナー材（アルミ笠木W250程度）新設	
バルコニー【増築】	屋根2、4					
縦樋【既存】	南側・東側 計5箇所	鋼管 114.3φ×3.6 OP		撤去		
縦樋【既存】	北側・西側 計12箇所	鋼管 114.3φ×3.6 OP		既存残し	既存 SOP再塗装	
縦樋【増築】	EVホール、階段1				EVホール：硬質塩ビパイプ 2本 75φ 階段：硬質塩ビパイプ 1本 100φ	
屋外階段【既存】		モルタル金ゴテ下地 樹脂系弾性塗 t=3.0（SS工法）		高圧洗浄	屋内化	
テラス【既存】		モルタル金ゴテ下地 樹脂系弾性塗 t=3.0（SS工法）		高圧洗浄	一部屋内化	
テラス【増築】	ウッドデッキテラス				人工ウッドデッキ（鋼製下地）	サンシェード用ポール新設5本(クリート、フック付き) メッキ塗装 + DP仕上げ 450角基礎
ベランダ【既存】		モルタル防水金ゴテ下地 人工芝貼		人工芝撤去、高圧洗浄	屋内化	
ポーチ【既存】		磁器質模入りタイル		タイル撤去	屋内化	
スロープ床【既存】	アプローチ、テラス	コンクリート下地 樹脂系弾性塗料		アプローチのスロープ：解体 テラスのスロープ：残し（手摺は撤去）		
スロープ床【新設】	アプローチ、ウッドデッキテラス				テラス：ウッドデッキと同仕様 アプローチ：特殊防滑性ビニル床シート	アプローチのスロープは躯体新設
クラブ【既存】	給食室上部				SOP塗装 特殊防滑性ビニル床シート/アスファルト 舗装 アスファルト舗装1層打（砕石路盤t100）	木製の電気配線カバーを建築工事にて製作 H4500 W1000（X6通り外壁沿い） 花壇撤去
アプローチ【既存】		モルタル金ゴテ仕上げ		撤去新設		
正門【既存】	門扉 擁壁	鉄製門扉 鉄筋コンクリート		鋼ケレン目あらしの上再塗装 小さい門は撤去 一部撤去新設（H1600、既存合せ）、既存部分は高圧洗浄	錆止め塗装 + DP塗装 共通事項「外構塗装」「基礎部塗装」参照	看板新設
副門【既存】				既存のまま		
屋外手洗い場【既存】				撤去		
屋外手洗い場【新設】	1,2				造作家具工事	
シャワーコーナー【新設】	ウッドデッキテラス				人工ウッドデッキの上そのまま	
園庭【既存】				砂場撤去		
避難用滑り台【既存】		ステンレス		基礎撤去、滑り台移設		
機械設備置場【既存】				受水槽基礎撤去、フェンス撤去	キュービクル用基礎新設、フェンス新設	
屋外倉庫【既存】				既存のまま		
フロバン庫【既存】				既存のまま		
屋外トイレ【既存】				既存のまま		
業者用車寄せ【既存】				既存のまま		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><備考></p> <p>※1 アスベスト含有建材 除去が必要</p> <p>※2 アスベスト含有建材 残置して上から施工</p> </div> <div style="width: 20%; text-align: center;">  <p>株式会社 桂設計 埼玉事務所 KATSURA-級建築士登録 第301170号 白濁 若英</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>工事名 川島町公立保育園統合整備工事</p> <p>計画 製作 調査 調査</p> <p>業務番号 000000</p> <p>図面番号 仕上表 - 1</p> <p>縮尺 A1: A3:</p> <p>2026/ 03/ 13</p> <p>図面番号 A-17</p> </div> </div>						

内部仕上表

階	増築	室名		床		巾木		壁			天井				廻縁	法規規制			備考 ※特記なき限り既存造作家具等は全て撤去 ※CB:カーテンボックス
				FL	下地	仕上	高さ	下地	仕上(上壁)	塗装	下地	仕上	塗装	天井高さ (FL~)		内装制限		排煙	
				SL		※特記なき限り既存床仕上げは全て撤去	仕上		仕上(下壁)	塗装				天井		天井下地	天井仕上		
1階	既存	ボーテ		-60		磁器質模入タイル 125角			W-1	小口平タイル			カラーアルミスバンドレル張		2,860				
	改修	玄関		-25	F-3	特殊防滑性ビニル床シート t=2.5	木巾木	60	W-8	ビニルクロス張り(不燃材) シナ合板 t=6.0	WP2回塗	LGS	化粧PB(準不燃) t=9.5		2,525	塩ビ製		自然排煙	
	改修	エントランスホール		±0	F-3	クッションフロア t=2.6	木巾木	60	W-8	ビニルクロス張り(不燃材) シナ合板 t=6.0	WP2回塗	LGS	化粧PB(準不燃) t=9.5		2,500	塩ビ製		自然排煙	
	既存	職員便所		-60		磁器モザイクタイル 25角	半磁器タイル 100角			半磁器タイル 100角			フレキシブルボード t=4.0 目隠し張※1	AEP	2,460	木製			室名札
	既存	洗濯室		±0	F-3	エポキシ系塗床 t=2.0※1	モルタル塗金ゴテ仕上 AEP	100		モルタル塗金ゴテ仕上	AEP		フレキシブルボード t=4.0 目隠し張※1	AEP	2,400	木製			床下点検口、戸棚、室名札
	既存	シャワー室		-80		磁器モザイクタイル 25角	半磁器タイル 100角			半磁器タイル 100角			アルミ天井板(バスリブU)		2,480	バスリブ用			室名札
	改修	一時保育用トイレ		±0	F-6	長尺塩ビシート t=2.5	ソフト巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) メラミン不燃化粧板(ライニング部分)		LGS	吸音用有孔PB張り(不燃) t=9.5 継目処理工法	EP	2,800 一部2,500	塩ビ製	不燃	告示五	天井点検口、床下点検口 便器、手洗器(設備工事)
	改修	多目的トイレ1		±0	F-6	長尺塩ビシート t=2.5	ソフト巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) メラミン不燃化粧板(ライニング部分)		LGS	化粧PB張り(準不燃) t=9.5		2,500 一部2,200	塩ビ製	不燃	告示二	おむつ替え台、ペーパーシート、吊り戸棚 多目的トイレユニット、手洗器、汚物流し、(設備工事)
	既存	ホール		±0	F-3	長尺ビニルシート t=1.7※1	ビニル巾木※1	100		モルタル塗金ゴテ仕上	AEP		石膏化粧ボード t=9.0(ジブトーン)※1 グラスウール t=25.0入		2,400				手摺
	既存	玄関		-50		磁器質模入タイル 125角	テラゾーブロック			モルタル塗金ゴテ仕上	AEP		石膏化粧ボード t=9.0(ジブトーン)※1 グラスウール t=25.0入		2,450	木製			下足入、傘立、アルミ枠掲示板
	改修	一時保育室		±0	F-3	直張複合フローリング張 t=12.0 (押入内含む)	木巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) シナ合板 t=6.0	WP2回塗	LGS	吸音用有孔PB張り(不燃) t=9.5 継目処理工法	EP	2,800 一部2,500	塩ビ製	不燃	告示五	布団収納棚(2段)、CB、 タオル掛け(固定・フック10ヶ)、ロッカー (10人分) 手洗器、天井点検口
	既存	廊下		±0	F-3	長尺ビニルシート t=1.7※1	ビニル巾木※1	100		モルタル塗金ゴテ仕上	AEP	LGS	石膏化粧ボード t=9.0(ジブトーン)※1 グラスウール t=25.0入		2,400				床下点検口、天井点検口、手摺
	既存	職員室		±0	F-3	ぶなフローリングブロック t=15 UP	ラワン OP	100		モルタル塗金ゴテ仕上 ラワン合板 t=5.5 グラスウール t=25.0入下地 布クロス貼	AEP	LGS	石膏化粧ボード t=9.0(ジブトーン)※1 グラスウール t=25.0入		2,800	木製			黒板、室名札、受付カウンター、天井点検口、 掃除具入
	既存	医務室		±0	F-3	ぶなフローリングブロック t=15 UP	ラワン OP	100		モルタル塗金ゴテ仕上 ラワン合板 t=5.5 グラスウール t=25.0入下地 布クロス貼	AEP	LGS	石膏化粧ボード t=9.0(ジブトーン)※1 グラスウール t=25.0入		2,650	木製			吊りカーテンレール
	既存	湯沸室		±0	F-3	ぶなフローリングブロック t=15 UP	ラワン OP	100		モルタル塗金ゴテ仕上	AEP	LGS	フレキシブルボード t=4.0 目隠し張※1	AEP	2,650	木製			流し台、ガス台、吊り戸棚
	改修	職員室		±0	F-3	クッションフロア t=2.6	ソフト巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材)		LGS	吸音用有孔PB張り t=9.5 継目処理工法	EP	2,800 一部2,500	塩ビ製	自然排煙		掃除用具入れ、CB、カーテンレール2箇所 天井点検口 ミニキッチン(IH1口・照明付き) 参考品番:ニューミニ120cm/亀井製作所
	既存	乳児室(0才児室)		±0	F-3	コントラクトカーペット敷(ラバー付)	ラワン OP	100		ラワン合板 t=5.5 グラスウール t=25.0入下地 布クロス貼		LGS	ジョイント石膏ボード t=9.0下地※1 布クロス貼 グラスウール t=25.0入		2,800				ロッカー、室名札、天井点検口、掃除具入れ、 天井吊フック5ヶ
	改修	0歳児保育室		±0	F-3	直張複合フローリング張 t=12.0 (押入内含む)	木巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) シナ合板 t=6.0	WP2回塗	LGS	吸音用有孔PB張り t=9.5 継目処理工法	EP	2,800 一部2,500	塩ビ製	自然排煙		CB、ロッカー(9人分)、掃除用具入れ、 布団収納棚(2段) 天井点検口
	改修	調乳コーナー		±0	F-3	直張複合フローリング張 t=12.0	木巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り シナ合板 t=6.0	WP2回塗	LGS	吸音用有孔PB張り t=9.5 継目処理工法	EP	2,800	塩ビ製	自然排煙		調乳台(IHなし)
	既存	調乳室			F-3	樹脂系弾性塗床 t=1.5	ラワン OP	100		モルタル塗金ゴテ仕上	AEP		フレキシブルボード t=4.0 目隠し張※1	AEP					流し台、調理台、ガス台、吊り戸棚、 床下点検口、室名札
	既存	便所B				磁器モザイクタイル 25角(リングマット敷)	半磁器タイル 100角			半磁器タイル 100角			フレキシブルボード t=4.0 目隠し張※1	AEP					手洗流し、下流し、床下点検口、天井点検口、 室名札、戸棚
	改修	木浴室		±0	F-3	長尺塩ビシート t=2.5	ソフト巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) メラミン不燃化粧板(ライニング部分)		LGS	化粧PB張り(準不燃) t=9.5		2,500	塩ビ製	不燃	告示二	おむつ替え台 天井点検口、床下点検口 便器、手洗器、汚物流し、SK、ペーパーバス (設備工事)
	改修	1・2歳児用トイレ		±0	F-3	長尺塩ビシート t=2.5	ソフト巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) メラミン不燃化粧板(ライニング部分)		LGS	化粧PB張り(準不燃) t=9.5		2,500	塩ビ製	不燃	告示二	天井点検口、床下点検口、壁点検口 間仕切り手摺 便器、手洗器(設備工事)
	既存	ほふく室(1才児)		±0	F-3	コントラクトカーペット敷(ラバー付)	ラワン OP	100		ラワン合板 t=5.5 グラスウール t=25.0入下地 布クロス貼		LGS	ジョイント石膏ボード t=9.0下地※1 布クロス貼 グラスウール t=25.0入		2,800	木製			黒板、ロッカー、室名札、天井点検口、 掃除具入、天井吊フック5ヶ
改修	1歳児保育室		±0	F-3	直張複合フローリング張 t=12.0 (押入内含む)	木巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) シナ合板 t=6.0	WP2回塗	LGS	吸音用有孔PB張り t=9.5 継目処理工法	EP	2,800 一部2,500	塩ビ製	自然排煙		掃除用具入れ、ロッカー(12人分)、CB、 布団収納棚(2段)、 タオル掛け(固定・フック12ヶ) 天井点検口、手洗器	
既存	保育室(2才児)A		±0	F-3	コントラクトカーペット敷(ラバー付)	ラワン OP	100		モルタル塗金ゴテ仕上 ラワン合板 t=5.5 グラスウール t=25.0入下地 布クロス貼	AEP	LGS	石膏化粧ボード t=9.0(ジブトーン)※1 グラスウール t=25.0入		2,800				黒板、ロッカー、手洗流し、室名札、手摺、 天井点検口、掃除具入、天井吊フック5ヶ	
改修	洗濯室		±0	F-3	長尺塩ビシート t=2.5	ソフト巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) メラミン不燃化粧板(ライニング部分)		LGS	化粧PB張り(準不燃) t=9.5		2,500	塩ビ製	不燃	告示二	吊り戸棚(備品)、エアフープ 天井点検口、床下点検口、壁点検口 便器、手洗器、SK、汚物流し、洗濯機パン (設備工事)	

階	増築	室名		床			巾木		壁			天井				廻縁	法規規制			備考	
				FL	下地	仕上	仕上装	高さ	下地	仕上(上壁)		塗装	下地	仕上	塗装		天井高さ(FL~)	内装制限			排煙
				SL						仕上(下壁)								天井下地	天井仕上		
1階	改修	倉庫2	±0	F-3	長尺塩ビシート t=2.5	ソフト巾木	60	W-18	ビニルクロス張り(不燃材)			LGS	化粧PB張り(準不燃) t=9.0	—	2,500	塩ビ製	告示 二 不燃				
	改修	職員用更衣室	±0	F-3	長尺塩ビシート t=2.5	ソフト巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材)			LGS	化粧PB張り(準不燃) t=9.5	—	2,500	塩ビ製	告示 二 不燃	ロッカー(40人分・備品) 天井点検口			
	既存	便所A	-60 -70		モルタル防水金ゴテ	磁器モザイクタイル 25角(リングマット敷)	半磁器タイル	100角	半磁器タイル100角			LGS	フレキシブルボード t=4.0 目透し張り※1	AEP	2,400	木製		手洗い、下流し、床下点検口、天井点検口、室名札、戸棚			
	改修	2歳児用トイレ	±0	F-6	長尺塩ビシート t=2.5	ソフト巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) メラミン不燃化粧板(ライニング部分)			LGS	化粧PB張り(準不燃) t=9.5	—	2,500 一部2,035	塩ビ製	告示 二 不燃	天井点検口、床下点検口 筒仕切り用指 便器、手洗器(設備工事)			
	既存	保育室(2才児)B	±0	F-3	コントラクトカーペット敷(ラバー付)	ラワンOP	100		モルタル塗金ゴテ仕上	ラワン合板 t=5.5 グラスウール t=25.0入下地 布クロス貼	AEP		石膏化粧ボード t=9.0(ジブトーン)※1 グラスウール t=25.0入		2,800	木製		黒板、ロッカー、手洗い、室名札、手摺、 天井点検口、掃除具入、天井吊フック5ヶ			
	改修	2歳児保育室	±0	F-3	直張複合フローリング張 t=12.0 (押入内含む)	木巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) シナ合板 t=6.0		掲示コーナー： 磁石対応クロス WP2回塗	LGS	吸音用有孔PB張り t=9.5 継目処理工法	EP	2,800 一部2,500	塩ビ製	自然 排煙	掃除用具入れ、ロッカー(15人分)、CB、 布団収納棚(2段)、手洗器、 タオル掛け(固定・フック15ヶ) 天井点検口			
	既存	テラス(屋外)	-80	F-3	樹脂系弾性塗床 t=3(SS工法)	—	—		コンクリート打放し アクリルリシン吹付				コンクリート打放し アクリルリシン吹付			—					
	改修	廊下1	±0	F-6	クッションフロア t=2.6	木巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) シナ合板 t=6.0		掲示コーナー： 磁石対応クロス WP2回塗	LGS	化粧PB張り(準不燃) t=9.5	—	2,500 一部2,800	塩ビ製	自然 排煙	ビクターレール、CB、 着替えフック(各保育室人数分) 天井点検口、床下点検口			
	既存	ボイラー室	-170 -230		シンダー コンクリート t=200	モルタル塗金ゴテ目地切仕上	モルタル塗金ゴテ	100	モルタル塗刷毛引仕上				木毛板 t=20 打込 カラーリシン吹付					室名札、各コンクリート扉			
	改修	給食室用トイレ	±0	F-6	長尺塩ビシート t=2.5	ソフト巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材)			LGS	ビニルクロス張り	—	2,500	塩ビ製	告示 二 不燃	便器、手洗器(設備工事)			
	改修	給食室玄関、備蓄倉庫	-150、 ±0	F-6	モルタル塗金ゴテ目地切仕上(下足部分・既存利用) 長尺塩ビシート t=2.5(上足部分)	ソフト巾木 (上足部分)	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材)			LGS	ビニルクロス張り		2,500	塩ビ製	自然 排煙	天井点検口			
	改修	休憩・更衣室	±0	F-6	長尺塩ビシート t=2.5	ソフト巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材)			LGS	ビニルクロス張り		2,500	塩ビ製	自然 排煙	CB 天井点検口 ロッカー(5人分・備品)			
	改修	前室1	±0	F-6	長尺塩ビシート t=2.5 t=2.5	床材巻上げ 見切り縁押さえ	300	W-8 W-18	耐水PB t=12.5 + 化粧ケイカル t=6.0			LGS	フレキシブルボード t=4.0 目透かし張り	防菌	2,500	塩ビ製	告示 二 不燃	手洗器(設備工事)			
	既存	調理室、下処理室、食品庫	-50~-100	F-3	コンクリート 目荒らし	エポキシ系塗床 t=2.0※1	モルタル塗 金ゴテ AEP	100	モルタル塗金ゴテ仕上		AEP	LGS	フレキシブルボード t=4下地 ※1 パールスキン t=4 コテ仕上		2,850~ 2,900	塩ビ		調理室：フード、ダムウェーター、 天井点検口、室名札 下処理室：室名札 食品庫：棚			
	既存	休憩室	+150			タタミ 一部桧フローリング t=15.0	タタミ寄せ		ジュラック壁(プaster下地)				石膏化粧ボード t=9.0(吉野天井)※1		2,400						
	既存	前室	±0	F-3		エポキシ系塗床 t=2.0※1	ラワン OP	100	モルタル塗金ゴテ仕上		AEP		フレキシブルボード 目透し張り t=4.0※1	AEP	2,400						
	既存	便所(休憩室隣)	-60 -70			磁気モザイクタイル 25角	半磁器タイル 100角		半磁器タイル 100角				フレキシブルボード 目透し張り t=4.0※1	AEP	2,460			室名札			
	既存	配膳コーナー	±0	F-3		長尺ビニルシート t=1.7※1	ビニル巾木※1	100	モルタル塗金ゴテ仕上		AEP		石膏化粧ボード t=9.0(ジブトーン)※1 グラスウール t=25.0入			木製		棚			
改修	給食室(下処理室、 食品庫、検収室、調理場、 前室2)	±0	F-3		特殊防滑性ビニル床シート t=2.5	床材巻上げ 見切り縁押さえ	300	W-8 W-18	間仕切壁：耐水PB t=12.5 + 化粧ケイカル t=6.0 躯体壁：吹付タイル			LGS	ケイカル t=6.0 目透かし張り	防菌	2,800 一部2,600	塩ビ製	準不燃 準不燃	「厨房機器配置図(参考図)」参照 排水枺参考品番：STV-100-M-BT/カネソウ 天井点検口、床下点検口			
2階	既存	遊戯室	±0	F-3	コントラクトカーペット敷(ラバー付)	ラワン OP	100		モルタル塗金ゴテ仕上	ラワン合板 t=5.5 グラスウール t=25.0入下地 布クロス貼	AEP	LGS	ジョイント石膏ボード t=9.0 グラスウール t=25 布クロス貼		2,750 2,950	木製		映写スクリーン、ステージ(移動式)、手摺、 室名札、天井吊フック10ヶ、天井点検口			
	既存	器具室	±0	F-3	樹脂系弾性塗床 t=1.5	ラワン OP	100		モルタル塗金ゴテ仕上	ラワン合板 t=5.5 目透し張	AEP OP		石膏化粧ボード t=9.0(ジブトーン)※1		2,400	木製		室名札、掃除具入れ1ヶ所			
	改修	多目的ホール(遊戯室)	±0	F-3	直張複合フローリング張 t=12.0 (押入内含む)	木巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) シナ合板 t=6.0		WP2回塗	LGS	吸音用有孔PB張り t=9.5 継目処理工法	EP	2,950 一部 2,650/2,500	塩ビ製	難燃 難燃	自然 排煙	CB、天井点検口、壁点検口 収納 x3(2段)		
	既存	保育室(5才児)	±0 -40		ぶなフローリングブロック t=15.0 UP	ラワン OP	100		モルタル塗金ゴテ仕上	ラワン合板 t=5.5 グラスウール t=25.0入下地 布クロス貼	AEP	LGS	石膏化粧ボード t=9.0(ジブトーン)※1 グラスウール t=25.0入		2,800	木製		黒板、ロッカー、手洗い、室名札、手摺、 掃除具入、天井吊フック5ヶ			
	既存	廊下	±0 -40	F-3	長尺ビニルシート t=1.7※1	ビニル巾木※1	100		モルタル塗金ゴテ仕上		AEP		石膏化粧ボード t=9.0(ジブトーン)※1 グラスウール t=25.0入		2,400	ラワン OP		天井点検口、手摺			
	改修	5歳児保育室	±0	F-3	直張複合フローリング張 t=12.0 (押入内含む)	木巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) シナ合板 t=6.0		掲示コーナー： 磁石対応クロス WP2回塗	LGS	吸音用有孔PB張り t=9.5 継目処理工法	EP	2,800 一部2,500	塩ビ製	自然 排煙	掃除用具入れ、CB、ロッカー(20人分)、 布団収納棚(2段)、手洗器、 タオル掛け(固定・フック20ヶ) 手洗器 天井点検口、壁点検口			
	既存	保育室(4才児)	±0		ぶなフローリングブロック t=15.0 UP	ラワン OP	100		モルタル塗金ゴテ仕上	ラワン合板 t=5.5 グラスウール t=25.0入下地 布クロス貼	AEP		石膏化粧ボード t=9.0(ジブトーン)※1 グラスウール t=25.0入		2,800	木製		黒板、ロッカー、手洗い、室名札、手摺、 掃除具入、天井吊フック5ヶ			
	既存	便所C	-60 -90		モルタル アスファルト防水 均しモルタル t=15	磁器モザイクタイル 25角(リングマット敷)	半磁器タイル 100角		半磁器タイル 100角			LGS	フレキシブルボード t=4.0 目透し張※1	AEP	2,400	アルミ ラワン OP		手洗い、下流し、天井点検口、室名札、 トブライト、戸棚			
	改修	4歳児保育室	±0	F-3	直張複合フローリング張 t=12.0 (押入内含む)	木巾木	60	W-8 W-18	ビニルクロス張り(不燃材) シナ合板 t=6.0		掲示コーナー： 磁石対応クロス WP2回塗	LGS	吸音用有孔PB張り t=9.5 継目処理工法	EP	2,800 一部2,500	塩ビ製	自然 排煙	掃除用具入れ、ロッカー(20人分)、CB、 布団収納棚(2段)、手洗器、 タオル掛け(固定・フック20ヶ) 手洗器 天井点検口、壁点検口			

<備考>

※1 アスベスト含有建材 除去が必要

※2 アスベスト含有建材 残置して上から施工

壁壁の見切縁、出隅材、掲示コーナーの枠はタモ無垢材 9mm×9mm WP2回塗りとする

ライニングの下地は、メラミン+GBS12.5+LGS65型、ライニング面台はメラミンポスフォーム t20とする

衛生器具(手洗い器、小便器、SK流し、手摺)の補強下地はライニング全面に合板(ラワン1類) t12を入れる

化粧ケイカルの出隅にはアルミ見切り縁を入れる



工事名 川島町公立保育園統合整備工事

計画 製作 調査 調査

図面番号 仕上表-3

縮尺

A1:
A3:

2026/03/13

図面番号
A-19

業務番号
000000